

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年前期開講、必修、演習科目であるため、</p> <p>①授業計画、達成すべき目標を分かりやすく伝えるよう努めた。</p> <p>②授業の終わりには毎回、各授業の目的を記した用紙にて小レポートを提出させ、学生の意欲、態度、理解度の把握に努めた。</p> <p>③②を踏まえて次の授業での演習方法や目的説明のあり方を調整するようにした。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の最終的な成績の平均値は83.4点であった。</p> <p>殆どの者が標準レベルに達した。学生による授業評価においては、「自分なりの目標を達成した」の平均点は4.2であった。また、知識獲得の平均点は4.5点、視点獲得の平均点は4.5点であり、専門分野との結びつきを意識しながら取り組むことができたようである。「課題を検討する力」4.4点、「専門分野の技術」4.6点、「コミュニケーション、表現力」4.5点であり、スキルとして身に付いた実感を得た学生が多くみられた。また、意欲の平均点は4.2点であり、すべての学生の学びへの意欲を引き出すことができた。</p> <p>アンケートの回収率は92%であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①本科目は、一年前期開講の卒業必修科目である。大学の教育方針、授業形式、人間関係に慣れ、一年後期からの「専門科目」の演習群に導入していくための重要な位置付けがあると考えられる。

②成績評価からは、目標は概ね達成されており、学生の自己評価では達成できたと評価する学生が多くみられたことから、今後の学生生活、専門科目における講義、演習の履修に大いに役立つ体験が得られたと考えられる。

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価は、平均値は4.1～4.6であった。授業の進め方は適正であり、来年度も引き続き、新入学の学生の状況を個人、集団での理解の様子をみながら、より良い授業展開を図っていきたい。

学習量については、30分以上の予習時間を週に1回以上取った者が36%、30分以上の復習時間を週に1回以上取った者は82%であった。また、自発的学習に取り組んだ者は18%であった。

授業の課題以外に取り組んでいない理由には、「グループワークがメインだったので」「授業中で実際に学ぶことが多かったため」と授業内の経験の重要性を理解している意見がみられた。

「どんなことを行ったら良いか分からなかった」という意見もみられたが、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習に「友達とのコミュニケーション」と答えた学生がいるように、本演習の学びが課題外の大学生活における新たな人間関係形成の実践、ヒューマンサービスに必要とされる対人コミュニケーションの実践に役立ったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね達成できたと考えられる。

来年度も引き続き、新入学の学生の状況を個人、集団での理解の様子をみながら、より良い授業展開を図っていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみるとAクラス、Bクラスともに「必修科目である」が最も多く、「関心がある」はBクラス1名となっていた。そのため、本演習に対し苦手意識を持つ学生や消極的である学生が居ることが予測された。また、入学後初めて学生同士で積極的にコミュニケーションをとる機会となることが予測されたため、学生の心理的緊張に配慮しながらウォーミングアップとなる演習を多く取り入れた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生の自己評価をみると、Aクラス、Bクラスともに「自分なりに目標を達成することができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることが出来た」において4点以上の得点がついている。本演習の目標もコミュニケーション能力や対人交流における自己理解の促進であり、教育目標は達成されたと判断した。なお、成績評価においてもAクラスの平均点が84.6点、Bクラスの平均点が81.2点であり、学生の自己評価だけでなく教員による評価においても授業目標は達成されたと判断した。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本演習は対人援助職の基盤となるコミュニケーションや対人交流場面における自己理解を扱う。そのため1年生前期という開講時期は妥当だと考える。また、演習は対人交流を伴うワークが中心であり、評価対象についても現在のDP4 および5 が妥当だと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本年度の工夫や配慮事項は学生の積極的な授業参加や学習目標の到達において有効であったと考えられた。そのため、来年度も引き続き今年度の授業内容や工夫を実施していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生自身による評価および教員による成績評価の両方において、学生の学習到達度は目標に到達したと判断した。次年度の演習は、今年度の演習内容を基盤として、受講学生の様子に応じて柔軟に変更を加えながら実施していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	山本 佳代子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年前期開講の必修、演習の科目である。</p> <p>①オリエンテーションでは授業計画、到達目標を具体的に伝えると共に、演習のねらいや進め方も分かりやすく伝え不安を解消できるよう努めた。</p> <p>②毎回授業の終わりに、受講生がその時間の体験を言語化できるよう振り返りシートを記入する時間を設けた。また振り返りシートからそれぞれの学生の理解度の把握に努めた。</p> <p>③②の振り返りシートをもとに、次の講義のはじめにフィードバックを行い、受講生同士でさまざまな価値観に触れられるよう意識した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の成績の平均値は87、4点であり、ほとんどの受講生が標準レベルに達した。受講生の到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成した」の平均値は4、4と4、3であった。また「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4、5、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値は4、4と4、6であり福祉の視点も取り入れながら知識を吸収することができたと考えられる。また、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値は4、6と4、7であり、今後の学びへの意欲に結びついている。さらに「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4、9と4、6であり、受講生それぞれが意欲的に取り組んでいた結果だと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①本科目は、一年生の前期に開講する必修科目である。ヒューマンサービスの専門職として基礎的に必要とされるスキルを学び、一年後期からの専門的な学びへつなげていくための科目であると考えられる。

②成績評価、授業評価から目的は概ね達成されており、今後のそれぞれの学生生活や専門科目の学びへの意欲につながったと考えられる。

①、②より内容の妥当性に問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は、平均値は4, 5~5, 0であり、授業の進め方に問題はないと考えられる。引き続き、一人ひとりの学生の様子を見ながら授業を進めていきたい。学習量については、「様々なコミュニケーションの取り方について調べたり、現代の社会問題について調べたりした」、「その職業について深く知りたいと思い調べた」、「授業内で話に出たことで少し気になったことを調べてみた」、「日頃の会話の中で学んだことを意識しながら話そうにした」、「この講義を通して学んだことを、ボランティア先やバイト先などで実践した」などが自由記述に見られた。演習での学びが自己学習へつながっていること、ヒューマンサービスに求められるコミュニケーション力を日常生活でも意識し実践につなげている様子がうかがえた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

概ね達成できたと考えられる。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
福祉入門	1	前期	必修	いいえ	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は福祉基礎科目に位置づけられている。授業目標は、①福祉課題への関心を高めること、②専門職への動機づけであり、専任教員（5名）と福祉現場に従事している外部講師（8名）で担当している。</p> <p>学生の履修動機を見ると、「必修科目である」（97.0%）が最も多く、次いで「資格取得に必要である」（17.9%）となっている。授業では、学生が福祉学科でのこれからの4年間の学習や各資格取得のための実習に向けて動機づけができるよう、福祉課題の実態やそれに対応した制度・政策の動向、現場における利用者支援の実際などについて教授した。その際は、初学者である学生ができる限り、福祉現場やそこに従事する専門職の現状がイメージできるよう心掛けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体の成績は平均83.5点であり、この点で教育目標は達成されたと考える。各DP項目について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（かなりそうだと思う58.2%、わりにそうだと思う34.3%）であり、目標は達成されたと言える。「思考判断」（DP2）は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（かなりそうだと思う44.8%、わりにそうだと思う35.8%）となっており、これも目標は達成されたと言える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う59.7%、わりにそうだと思う31.3%）であり、目標は達成されたと言える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う43.3%、わりにそうだと思う29.8%）であり、目標はやや達成されたと言える。</p> <p>この他、授業の予習・復習については、「予習0回」（49.3%）と「復習0回」（44.8%）となっている。また、課題以外の課題への取組みについては「取り組んでいない」（70.2%）となっている。学習量においてはやや課題が見られるものの、総じて教育目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

全体の平均点は83.5点であった。また、本科目の教育目標（学習・実習への動機づけ）に関わるDP3（「意欲関心」）において、学生の到達度自己評価は「達成された」と判断された。以上のことから、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP,カリキュラム上の位置づけ

本科目の主要な教育目標は福祉専門職への動機づけであり、本科目のCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の教育目標は達成されたものの、授業の予習・復習や課題以外の学習への取組みといった点では課題が残った。今後も引き続き、学生の主体的な学習態度を引き出せるよう授業内容や展開の改善を行っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

昨年度と同様に本科目の教育目標は「達成できた」と判断できた。次年度も引き続き、教育目標を達成できるよう、教員間で授業内容・展開方法等について、十分に検討・共有していきたい。また、外部講師においても教育目的を意識した授業を展開して頂くよう周知していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
発達アセスメント演習	3	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業や資格取得に必須ではない本講義の受講動機については、「関心のある内容である」が多く、受講学生が実習や就職後において活かせる知識と技術を身に付けようと意欲的に受講していることがわかった。講義においても、具体的な発達検査や知能検査の概要を紹介するだけでなく、検査道具に触れたり、実際に検査を実施するロールプレイングを行うなどして、実践的学びとなるよう配慮した。</p> <p>また、検査方法の理解にとどまらず、子どもの発達を理解する視点の獲得や発達支援に対する理解の深まりへ繋げられるよう、発達理論と絡めた解説を実施した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績は平均78.7点 (±13.9点) であり、受講生によって到達度が分かれる結果となった。					
*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。	多くの受講生が意欲や関心をもって演習にも積極的に参加していた。しかしながら、少数ではあるものの、割り当てられた担当の発表時に連絡なく欠席するなど「意欲関心」が低いと評価せざるを得ない人もいたため、「意欲関心DP3」は「やや達成された」と評価した。					
<授業評価の指標>						
「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

発達検査や知能検査の実施体験という授業内容を通じ、発達アセスメントの視点を身に付けることが目標である。この授業内容および目標に対して設定されたDPは妥当であると考えられる。

また、実習を控えた3年生に実施することを考えると、開講時期、授業内容とDPそれぞれ妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による到達度自己評価では多くの項目において3点台にとどまっていた。成績評価でも学生によって差が大きかった。以上より、毎授業でコメントカードの記入を求めるなどして授業の理解度を把握することに努めたい。また授業開始時には学生の授業に対するイメージやニーズを確かめ授業内容に反映させていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

授業目標の到達度は学生によって差がある結果となった。理解度の把握やそれに対する対応を行うとともに、学生のニーズに応じた発展的内容も取り扱っていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
発達心理学Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「関心のある内容である」とした学生が83%、「単位数を確保する」50%、「GPAを上げる」17%であった。</p> <p>本講義は、2年前期開講科目である。学生は1年前期に「心理学と心理的支援Ⅰ」において心理学全体における発達心理学の位置づけについて学び、1年後期に「発達心理学Ⅰ」において胎児期から児童期までの発達心理学を学んでいる。以上のことを踏まえて、本講義「発達心理学Ⅱ」では、青年期から老年期までの発達心理学の講義を行った。また、心理学系科目は選択科目であることから、一部学生は「心理学概論Ⅰ」「発達心理学Ⅰ」を受講していない場合もあるため、それらの授業でも出てきた主要な理論についても言及しながら解説するよう努めた。</p> <p>青年期以降の発達であるため、専門職として必要な学びと共に、学生自身が社会とのつながりや身近な人との関係、自分の将来について考える機会を提供できるよう授業計画を立てた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は86点であり、90点以上の者が30%、80点～89点の者が50%であった。評価対象者は標準レベルの学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.8であった。「学びを深めたいと意欲を持つことができた」は平均値が4.7であった。それ以外の項目についても、3.7以上であった。「自分なりの目標を達成した」の平均値は4.2であり、概ね学生も目標を達成した実感を持ったと考えられる。</p> <p>受講者数は10名、成績評価対象者は8名、授業評価アンケートの回収率は60%である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本授業は、1年後期の発達心理学Ⅰの後に続くものとして、2年前期に設けられている。

発達心理学Ⅱは「青年期、成人期、老年期」の発達心理学を学ぶものであり、人間理解の科目として、実習前に設置されていることは妥当であると考えられる。

授業の質評価において「説明は理解しやすいものであった」は平均値4.7であり、授業内容としても2年次前期にふさわしい内容になっていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

テキストに沿って進めたが、不足する情報は適宜プリントして配布した。説明には、パワーポイントを用いて、視覚的に整理され分かりやすく伝わるように工夫をしている。授業の質評価では平均値が3.8～4.8であり、概ね評価されていると考えられる。

学生の自由記述では「小レポートで復習できた」「授業内の説明がとてもわかりやすく理解できた」など、授業での学びを重視して取り組んだことがうかがえる。また、授業の課題以外に取り組んだ学生の意見に「心理学に関する本を買って読んだ」があり、授業をきっかけに自己学修に取り組んだものと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね達成できた。

全ての学生が単位修得することができた。関心の高い学生の受講により、高い成果を上げることができた。

来年度も引き続き受講生の特徴を踏まえながら、授業内容を向上できるよう工夫をしていく。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
カウンセリング論	2	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機の割合は、「関心のある内容である」87%、「単位数を確保する」40%、「資格取得に必要である」「GPAをあげる」7%であった。</p> <p>本講義は、2年前期開講科目である。学生は1年の間に「心理学と心理的支援Ⅰ・Ⅱ」において心理学の基礎知識について学び、1年後期に「臨床心理学概論」において臨床心理学の基礎知識を学んでいる。臨床心理学では理論と実践が絶えず影響を及ぼし合うことを重視する。本講義「カウンセリング論」では、臨床心理面接の基礎となるカウンセリング理論についての講義を行った。</p> <p>子ども家庭福祉コースにて保育士資格を取得する学生にとっては、選択必修科目となっている。</p> <p>授業評価アンケートの回答率は65%であった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は91点であり、90点以上の者が65%、80点～89点の者が22%であった。授業評価対象となった学生の95%が標準レベル以上の学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価では、「自分なりの目標を達成した」の平均値は4.4であった。概ね学生も目標を達成した実感を持ったと考えられる。「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均点は4.6点、「さまざまな課題を検討する力を得ることができた」「学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均値は4.5点であった。概ね4.0以上の平均値であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本授業は、1年後期の臨床心理学概論の後に続くものとして、2年前期に設けられている。
カウンセリング論は臨床心理学の一分野であり、対人援助理論の科目として、実習前に設置されていることは妥当であると考えられる。
学生も概ね苦勞なく取り組めており、授業内容としても2年次前期にふさわしい内容になっていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

レジュメを作成し、資料等も適宜プリントして配布した。また、初学者にも理解しやすいテキストを副読し、理解を深めた。
授業の質の評価としては、平均値は3.9~4.8であった。
予習を1回以上行った学生は、40%、復習を1回以上行った学生は67%であった。自主的学習を行った学生は20%であった。
学生の自由記述では、授業以外の課題に取り組んでいない理由として「レジュメがわかりやすくまとめられていた」「授業の課題で十分に復習できた」「授業で理解した」といった内容が挙げられていた。取り組んだ学生は「本屋さんでカウンセリングにまつわる本を買って読んだ」と述べていた。
まずは基本的な概念を学ぶことが重要であるため、本年度の授業のあり方、学生の学びとしては望ましい結果であったと考える。受講生が、この学びを実習や就職後の対人援助職者としての活躍に結び付けていくことを期待する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

概ね達成できた。
殆どの学生が単位修得することができた。
来年度も引き続き受講生の特徴を踏まえながら、授業内容の向上とともに、質疑応答がしやすい授業環境を提供できるよう工夫をしていく。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康臨床心理学	4	前期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機について「単位数を確保する」という回答も多かった（13名/14名中）が、「関心のある内容である」（10名/14名中）と回答した受講生も多く、内発的な動機から受講していることが分かった。また、4年生という学年も考慮し、学生自身が関心をもっているテーマや経験した実習領域、就職のイメージなどを聞き、それらをもとに適宜講義内容へと反映した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートでは「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」について、受講生の自己評価が4.0点以上となっており、DP1は達成されたと判断した。その他の項目については全て4点以下となっており、昨年度よりも点数が低い傾向となった。そのため、DP2と3はやや達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

臨床心理学の中でも発展的な内容を扱う授業であり、4年生での開講が妥当と考えられる。

受講にあたっては、心身相関に基づく新たな専門的知識の獲得が必要であり（DP1）、また専門的知識の獲得にとどまらずに対象者の適切な理解や支援へとつなげる姿勢が求められる（DP2）。さらに、受講生は講義で得た知識をもとに自身の日常やこれまでの援助の在り方を振り返り今後活かそうとする姿勢（DP3）が求められる。以上のことから、本講義で設定されているDPは適切であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体験型のワークを実施したり、ワークを通じた学生なりの考えや感想を述べる課題を多く設け、またそれに対し教員がコメントをするなど双方向的なやり取りをこころがけた。

また、授業開始時に受講生にアンケートは実施しているが、改めて受講生がどのようなイメージやニーズを持って受講しているのか確認していきたい。そのうえで、4年生という学年を考慮し、理論やワークだけでなく来年度以降は事例検討の時間などを多く取り入れたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

卒業や資格取得に必須の科目ではないため、来年度以降も受講者数が少ないことが予測される。そのため、講義内容のイメージが持てるようアナウンスを行ったり、講義実施にあたっては、就職後の仕事に直接活かすことができるような事例検討の時間などを取り入れていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡部 明仁

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
解剖学	2	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教科書の図を順序通りに説明を行うことにより、学生がメモを取る時間を極力軽減し、説明を聞く時間を多くとり講義時間内に理解してもらえるように取り組んだ。説明文は、教科書と同じ文章を用い、教科書に印をつけるだけでキーワードを含んだ文章を探し出せるよう講義スライドに記入した。</p> <p>②講義資料は、講義開始前に紙媒体で配布した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①今年度の結果</p> <p>本試験の合格者は27名、再試が1名、追試が1名であった。本試験の平均点は81.6±14.0点であり、理想的なレベル（概ね80点以上）に到達していると考えられる。取り組み方が足りない学生がわずかにいた。次年度は、講義資料を前もって配布し、進みそうな範囲を前もって予習してきてもらうことのみならず、復習してもらえるよう工夫を凝らすことを考えている。</p> <p>②学生による授業評価においては、「到達度自己評価」及び「授業の質」において、「まあまあそうだと思う」以上の肯定的な評価が90%以上である項目が多いが、「コミュニケーションや表現力」、「職業倫理や行動規範」、「学生が参加する機会」などについては、「少しそうでないと思う」以下が多い項目で半数程度であった。専門基礎科目であることから、知識の習得に重きを置きがちではあるが、このような機会を講義の中で作っていくことを次年度の課題とする。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性
本科目は「専門教育科目、保健・医療関係科目」であり、選択科目であるが養護教諭一種免許取得には必要である。教員採用試験にも一定の割合で出題されており、専門的な医学系科目を学ぶための基礎知識を学習するものである。養護教諭の業務内容と直接的な関連性が分かりづらい分野も含む科目ではあるが、学生も一定の成績を収めていることから、内容は妥当であったと考えられる。

②DP、行動目標から見ての内容の妥当性
成績評価と学習到達度についての学生の自己評価からみて、目標を標準的なレベルでほぼ達成できたと考えられる。

③まとめ
以上から、内容的妥当性は問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が2.3と最も低かった。これは、身近な生理現象や、病気などを例に挙げて問題提起をするよう心掛けてはいたが、知識の伝達が主である授業のため、学生同士で議論しまとめ、発表するという時間をとることができなかったことを意味すると考えている。予習・復習や自発学習を行っていない割合が多いのも反省点である。次年度に向けて、配布資料を前もって配ることにより、予習を促し、途中で小テストを入れるなどして、復習する動機づけを検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門教育科目、保健・医療関係科目にあたる本科目の位置づけから、知識理解度及び技能表現についてほとんどの学生が積極的に取り組んだものと判断できることから、概ね目標を達成できたと考える。講義時間中の質疑応答は、比較的自由に行えるようにしていたが、講義内容や講義時間中の質問はほとんどなかった。加えて、事例について学生同士でじっくり時間を取って検討し、発表する時間がなかった。今後、毎回の講義のねらいを具体的に示し、グループごとに討論する時間を設けたり、その内容を発表してもらうなど、学生がもっと参加する意欲が持てるよう努力していきたい。
配布物や講義の進行については、学生の意見を積極的に取り入れ、来年度に向けて改善を行いたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域保健学Ⅱ	4	前期	選択	いいえ	41

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習（病院実習）、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」67.0%、「必須科目である」50.0%、「関心がある科目である」17.0%であった。授業では、地域保健学Ⅰで学んだ知識を基礎に、できるだけ具体例を示し、グループワーク、ロールプレイ等を取り入れ、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②本年度は、地域保健学Ⅱの講義の中で健康相談のプロセスについて学んだ知識を基礎に、グループワークを取り入れ、学んだことを発表し、知識の定着を行った。また、養護実習との関連から、健康相談についてグループで演習を行い、学校の現場での実践化につなげる教材の工夫を行った。昨年度は、事例検討会の時間の確保が難しかったが、本年は、学校の現場で起こりうる事例の提示を工夫し、事例検討会のシミュレーションを取り入れ演習を行った。また、後期の授業科目「教職実践演習」と関連付け、多職種との連携について事例を用いて演習を行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は 80.0点（±11.1）であった。理想的レベル(90点以上) 10名、（80点以上）は13名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識・理解に関しては、80.0%、思考・判断 80.0 %、関心・意欲85.0 %であった。授業で基礎的な知識の定着を図りつつ、グループワーク等を通して応用力の定着を図るよう授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては、知識・理解の観点平均値4.6（中央値5.0）、思考・判断の観点平均値4.6（中央値5.0）であり、到達度自己評価にはあまり差はないことが示された。関心・意欲は平均値4.3（中央値4.5）であった。</p> <p>学生の知識理解の観点において、基礎的な知識はある程度定着していると考えられる。さらに応用問題が出された場合に、基礎知識を活用し応用問題に対応できるように授業構造を改善していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は、「保健・医療関係科目」である。また、養護教諭一種免許状を取得するための「養護実習」の履修要件科目である。受講動機から見ても学生が「資格取得に必要であるため」と67.0%が答えている。また、到達度自己評価では「知識を修正したり、新たに得ることができた」平均値4.6(中央値5.0)、「専門分野において学びを深めたいと、意欲を持つことができた」平均値4.3(中央値4.5)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」平均値4.5(中央値4.5)「自分が学ぼうとする専門分野の課題を検討する力を得ることができた」平均値4.6(中央値5.0)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP, 行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て、知識・理解に関する達成度80.0%であった。基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業では、できるだけ学校現場での実践がイメージできるように、具体的な事例を通して、実際の事例検討会のシミュレーションを授業の中に取り入れた。 さらに、基礎知識を定着できるよう、グループワーク等の演習を交え、実践できるような力を身につけることができるように授業内容を改善していきたい。 学生の意見として「自己学習に励んだ」、「授業内容の振り返り」、「地元の健康課題の推移や取り組みを調べて授業内容と関連させたり試験対策につなげた」、「自分の経験した事例について深く考えた」などの意見があり、積極的に授業に取り組んでいた。また、「わかりやすかったです。ありがとうございました。」などの意見があり、このような意見を励みに、さらにわかりやすい授業内容の改善に務めていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、養護教諭の一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識・理解の面は概ね達成できたが、学校現場では臨機応変に対応することが求められる。基礎的な知識を定着させ、さらに学校現場で活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していききたい。また、事例検討会のシミュレーションをより効果的に授業内容に取り入れていきたい。 今年度は養護実習で経験した事例についても検討会を行い、より学校現場をイメージして実践につながるような授業内容を工夫した。授業内容について基礎的な知識の定着を図るとともに、復習課題を設け応用問題等の提示をし応用力の養成に取り組んでいきたい。 さらに学生が学校現場で本講義の基礎知識をもとに健康相談について積極的に取り組み、学校現場の課題解決に向けて活躍できるような授業の展開を工夫していききたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	増本 由紀子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
基礎看護技術	3	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状資格取得に必要な科目であり、病院実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては、「資格取得のために必要である」と100.0%の学生が答えている。目標が明確であり、そのため看護の基礎技術をできるだけ理解しやすいように講義を行った。一方で、「関心のある内容である」が8%であり、シラバスのみでは看護技術に関する具体的なイメージが難しいことが考えられる。看護技術と養護教諭の職務との関連を示すとともに、授業において、実技のオリエンテーションを丁寧に行うことを心がけた。</p> <p>②基礎看護技術の定着については、授業で学んだ知識や技術を学校現場や病院実習で実践できるように、知識や技能の定着ができるように丁寧な説明を心がけた。実技演習の際には、教員の手元が分かるようにカメラなどを使用し、また、復習ができるように、実技の方法や動画を具体的に示した。さらに実技試験の前には看護実習室や模擬保健室での練習時間を設定した。さらに、解剖学と基礎看護技術との関連性、理解深化のために、解剖学を含めた課題を提示することで基礎知識の定着を図った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は 81.4点 (±10.1) であった。理想的レベルに (90点以上) 6名、(80点以上) 以上に達したものは16名であった。</p> <p>授業評価の指標については、学習の到達度評価の全体評価では、「自分なりの目標を到達した」と回答した学生は平均値4.0 (中央値4.0) であった。「知識を確認したり、新たに得ることができた」平均値4.4 (中央値5.0)、「自分が学ぼうとする専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.1 (中央値4.0) などであった。</p> <p>実技練習について、講義以外の時間帯に実習室や模擬保健室で、複数回練習に取り組むなど意欲的に練習に参加していた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップからの位置づけからみて内容的妥当性
本科目は、「保健・医療関係科目」である。また養護教諭一種免許状を取得するための「養護実習」の履修要件科目である。到達度自己評価および最終的な成績評価からも科目の目的は、果たしていると判断でき、内容的にも妥当であると考ええる。

②DP、行動面目標からみての妥当性
成績評価から、知識・理解に関する達成度は、67.6%、関心・意欲86.5%、技能・表現81.1%であった。授業で学んだ知識・理解の定着を図るよう、授業内容を工夫することから、内容的には妥当であったと考ええる。

③まとめ
以上のことから、内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業評価において、課題以外に取り組んだこととして、「復習や確認問題を行った」「実技の練習を行った」、「ビデオを見て練習した」、「自身の理解度を把握するため、看護師国家試験の過去問（授業で習った範囲）を解いた」など熱心に取り組んでいた。
必要物品に関する学生の意見は取り入れ周知に努めたい。
学生が十分に実技練習ができ、技術の定着につながるよう看護臨床実習等の科目において練習時間を確保する予定である。また、模擬保健室を活用して、学生が授業や実技の練習に取り組め、さらに学校現場を想定した看護技術の修得ができるよう授業内容を工夫していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○本年度は全体的におよそ満足できる結果であった。平均点は優レベルに近いが、さらに知識・技術の定着について授業改善に努めたい。
○次年度は工夫を重ね、さらにわかりやすい授業構造の改善に取り組みたい。看護学と看護技術の理解深化と技術を身につけ、養護教諭として学校現場で科学的根拠をもって、救急処置や保健指導等ができるように、授業内容を工夫していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	増本 由紀子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
看護臨床実習	3~4	後期（前期）	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、養護教諭一種免許資格取得に必要な科目であり、養護実習の要件を満たすための科目である。受講動機としては、「資格取得に必要な科目である」と80.0%の学生が答えている。一方で、「関心のある科目である」が20.0%であった。学修の目的や病院実習についてイメージしにくいことが課題の一つとして考えられるため、学生ひとりひとりが具体的に、実習の目標設定を行えるように工夫した。</p> <p>②3年生時には、病院実習前は意欲関心の向上と、養護教諭に必要な看護に関する知識と技術について目的を明確にして看護実習に臨めるよう講義と演習に取り組んだ。養護教諭にとっての病院実習の意味付けと、看護過程の展開や技術練習などの実習準備を行った。病院実習中は、医療と看護の実際を学び、知識・理解を深められるよう、実習記録をもとに個別に学習や理解の確認をしながら実習を進めた。</p> <p>③4年生時には、看護学の学びと病院実習の経験を養護教諭の実践につなげられるよう、主に学校での救急処置を中心に理解深化と技術練習を行った。さらに養護実習の準備と考察にも関連させた。養護実習後には養護教諭の活動過程の展開について事例をもとに考察し、看護学と養護学の整理ができるよう工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は 86.2点（±4.0）であった。理想的レベルに（90点以上）8名、（80点以上）以上に達したものは27名であった。</p> <p>授業評価の指標については、学習の到達度評価の全体評価では、「自分なりの目標を到達した」と回答した学生は平均値4.2（中央値4.0）であった。「知識を確認したり、新たに得ることができた」平均値4.2（中央値4.0）、「自分が学ぼうとする専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.1（中央値4.0）などであった。</p> <p>看護技術は、講義以外の時間帯に練習できるような機会と環境を整備し、積極的に練習する姿が見うけられた。今後も工夫を重ねたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップからの位置づけからみて内容的妥当性
本科目は、「保健・医療関係科目」である。また養護教諭一種免許状を取得するための「養護実習」の履修要件科目である。到達度自己評価および最終的な成績評価からも科目の目的は、果たしていると判断でき、内容的にも妥当であると考ええる。

②DP、行動面目標からみての妥当性
成績評価から、知識・理解に関する達成度は、83.8%、関心・意欲89.2%、技能・表現89.2%であった。
授業で学んだ知識・理解、技能の定着を図るよう、授業内容を工夫することから、内容的には妥当であったと考える。

③まとめ
以上のことから、内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生における授業以外に取り組んだこととして、「学校救急処置に関する本を読み知識を深めた」、「疾患について、事前学習した」、「実習に向けた知識や技術を、空き時間を使って身につけようと勉強した」などがあつた。
看護学で修得した知識と技術が、学校での養護教諭の実践に生かせるように、事例検討などによる省察や技術定着につながる授業内容の改善をしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○本年度は全体的におよそ満足できる結果であつた。平均点は優レベルであるが、さらに知識・技術の定着について授業改善に努めたい。
○次年度は工夫を重ね、わかりやすい授業構造の改善に取り組みたい。養護教諭としての姿勢や養護観を培い、学校現場で科学的根拠をもって、養護教諭の実践ができるように、授業内容を工夫していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	藤和 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
公衆衛生学	3	前期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①公衆衛生学は選択科目であるが、養護教諭資格取得に必須である。内容が幅広く、勉強意欲関心が重要になる。受講動機を見ると、「必須科目である」48%、「資格取得に必要である」81%で、「関心のある内容である」3%で、関心が低い内容であることを示唆するものであった。</p> <p>②初回の授業の最初に学習準備のため、シラバスを用いてオリエンテーションを行った。予習・復習について説明を行った。</p> <p>③授業で使用する資料を配布し、できるだけわかりやすい内容とした。</p> <p>④授業中の学生たちの勉強意欲・関心を高めるため、授業中の質問や討論を増した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①本試験の成績の平均値は77.0(±8.0)点であり、不合格者は3名でした。標準的レベル（概ね70点以上として試験を作成）に達成した。</p> <p>②「自分なりの目標を達成した」と答えた者は90%で、知識理解、意欲関心については目標が達成されたと考えられる。</p> <p>③「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」と答えた者は97%であり、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」と答えた者も97%であった。</p> <p>④「図書館、インターネット利用」は非常に少なかったため、今後は課外課題を与え、図書館、インターネット利用を促進したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目、保健医療関係科目」であり、選択科目である。養教一種免許状に必須である。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識・理解、関心意欲については目標を達成した。今年は対面授業だったので、対面で試験を実施した。内容は公衆衛生上重要である疫学調査、感染症に関する知識、対策及び予防方法、分野保健及び医療保険制度についてまとめた試験問題を作成し、学生の知識と考え方を評価した。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均が3.8で、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が2.8であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均は3.6で、授業の内容はよかった。また「説明は理解しやすいものであった」の平均が3.2であった。次年度に向けては、知識・理解の行動目標をより具体的に示した上で、課題解決型学習に力を入れて授業を進めたい。 学生の意見として、「新しい知識を沢山得ることが出来ました、ありがとうございました。」という意見があった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>専門教育科目にあたる本科目の位置づけから、知識理解の面で課題は達成できたが、関心意欲については課題を残した。今後、公衆衛生学の仕事現場での重要性をしっかりと説明し、学生の関心意欲のさらなる向上を目指していきたい。 授業過程を振り返ってみたとき、授業中、質疑応答、発表の時間が少なかったことで、学生の積極的な発言など関心意欲を高めることができなかった。以上から、毎回の授業のねらいを具体的に示して、予習したかをチェックし、授業中の質問、応答、発表時間を増やして、学生の関心意欲を高める努力を行っていきたい。 講義スライド、配布物（授業の参考資料）に関しては、充実させ、来年度にむけて授業進捗と内容説明について改善していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育原理	1	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>基本的には、保育士資格取得のための必須科目であり、全ての学生がそれに該当する。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>とはいえ、今年度は受講生の意欲が高く、授業態度も良かった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」からも、学生の主観的な達成度も高いとはいえ、十分な理解度が得られたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士としての原理原則に関する知識教授を第一義とする講義系科目であることから、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけは妥当なものであると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

大学入学後初めての講義ということもあり、学生は意欲的に取り組んでいたと考える。また、学生間の関係性構築のため、グループワークを多く設定したが、学生同士の関係はよく、円滑に授業運営が可能であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

成績評価、受講態度から教育目標は達成できていると考える。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容 人間関係	2	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育の質を左右するのは保育士と子ども。あるいは保育士と保護者。子ども同士。保護者と子ども。など人間関係の質と言える。その重要性は社会が人間関係スキルを重要視すればするほど幼児期のこの分野での学習は大事である。単なる座学に終わることなく実際にワークを多く行い、また心理劇の技法を使った実際の保育の現場で遭遇する子ども同士のけんかやトラブルをどのように観察、仲裁をすればよいかを身体を使って学ばせた。この効果は大きかった。アンケートの自由記述にも好評化の記述が見られた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点（聞き書きの実践力）に従って書かれている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。（客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる）授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

多様性と対話の文化が実現された、平和で幸せな地域の建設は教育の成否にかかっている。教職を目指す学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出来るだけ厳選して授業に臨んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

情報化時代、いや情報にあふれた社会の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみるとこれは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話なききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。今回最後の学科生になる学生に今後の母校への愛校心を形成したいと思ったが概ね達成できたと思っている。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容 表現	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「受講動機」の「必修科目である」が71%、「資格取得に必要である」が88%であり、「関心のある内容である」が43%であった。本科目は保育士資格取得における選択必修科目であり、乳幼児の「表現」について解説するとともに、他の「領域」との関連から見た「表現」内容を取り扱う。「表現」は、子どもの豊かな成長と関係することから、乳幼児の発達について、他科目との関連性を意識しながら、本科目を受講するよう、オリエンテーションで説明した。また、保育士を目指す学生自身が豊かな表現活動を体験できるよう、身体、造形、音楽表現について演習の計画を立てた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、約90%の学生が「理想的レベル」に達した。成績と出席率は比例しており、出席率の低さ（通常の欠席）または遅刻の多さは、授業内容の理解不足および成績に影響が出ると考えられる。しかし、全員「標準レベル」は達成している。授業の評価は、小テスト、レポート、発表内容で行った。トータルの成績平均は89.3点であった。授業評価アンケートの到達度自己評価の平均値は4.0-4.6内にあった。中央値は4.0-5.0であった。授業の質評価の平均値は4.0-4.4であり、すべて中央値は4.0以上であった。授業の目標はやや達成されたといえる。全体の目標が達成されるためには、保育士に求められる技能表現の目標を明確にし、具体的にイメージしながら取り組めるよう、演習内容を再考する必要があると考える。学生が自ら学習に対する意欲関心をもてるよう、次年度から工夫していきたいと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、保育士資格取得のための必須科目である。特に保育内容に深くかかわる科目であると同時に具体的保育指導案を立てることや模擬保育を行うための知識および演習課題があることから、関連DPについては妥当であると考えている。本科目は実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケート学習量の予復習時間は、全員が週2, 3回以上取り組んでおり、毎日取り組んだ学生の回答も見られた。自発的学習回数は半数が課題以外の学習に取り組んでいた。学習量の評価「授業の課題以外に取り組んだ学習」に、発表のために絵本を探したり、手遊びについて調べた、自分で手遊びなどのレポトリーを広げるために練習した、気になった点をインターネットで調べた、おもちゃを試作した、など、自主的に取り組んでいることが記述されていた。また、図書館を利用した学生は半数以上であった。演習および発表を中心とした授業内容であったため、予復習の時間をしっかりと確保できたと考える。また、少人数での授業であったため、発表の振り返りの時間を十分確保でき、全員で話し合いを行うことができた。今後も、到達度（目標）を明確に示すことで、学生が主体的に学習し、今後の課題を認識しながら、他の科目との総合的な学びを深めることができるよう、工夫していきたいと考える。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

本科目は、元々表現することが得意な学生にとっては楽しい授業であるが、反対にそうでない学生にとっては、多少の抵抗があると考えている。入学後、学生同士の関係がまだ浅い中、お互いに気持ちを解放することは、難しい。しかし、課題をクリアしていくにつれて、学生の表現が豊かになると感じている。今後も、学生同士がコミュニケーションを取りながら演習を進め、表現の楽しさを感じ、お互いの表現を認め合えるよう、アクティブラーニングを中心に進めていきたいと考える。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ファミリーソーシャルワーク論	4	前期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度は例年に比べ受講者数が4倍程度に増加したが、その多くは「単位数を確保するため」と思われる。授業評価アンケートによると受講動機に関して「関心のある内容である」67%、「単位数を確保する」67%となっているが、授業評価アンケートの回答者数は履修者数の15.8%にとどまった。家族を主題として取り扱う科目は3年次まででないため、履修につながった背景としては個々の実習等での経験や問題意識、学生自身の家族を取り巻く状況等様々であると考えられるが、各学生の抱くイメージや考え、新たに気づいたことなどを共有することによって、相互の学習意欲への刺激となるよう事例や視聴覚教材を選択し導入を丁寧に行うなど、授業を展開する上での工夫を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業評価アンケートの学習到達度自己評価においては、「知識理解」(DP1)、「思考判断」(DP2)、「意欲関心」(DP3)において概ね到達できたとされる結果だった。自由回答においても「授業が充実していた」「理解できた」などの記述が見られ、概ね達成されたものと捉えている。なお、授業評価アンケートの回答率が15.8%と極めて低いため、達成度の評価としては「やや達成された」に留める。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性
本科目は3年次までのソーシャルワーク関連科目における習得知識を踏まえ、新たな知識の習得、応用発展的な思考や判断する力を養うことを目的とした科目である。授業を進めるに当たっては、既習内容の振り返りを行いながら進めていくことによって一定程度の成果が得られたと考える。CP、カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性に問題はないと考える。

②DP,行動目標からの内容的妥当性
それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

資格取得のための必修科目ではないため、学生の関心や理解度等をコメントカードやワークシートにより把握しながら、授業で用いる事例の選択や授業計画などを必要に応じて修正変更を加えつつ展開した。学生の知的好奇心に応えることができるよう、さらなる準備、改善に取り組んでいきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成度自己評価、授業の質評価等が示す数値と、学生の授業への取り組みや提出物などから、教育目標はある程度達成できたと考える。新たな知識を得ようとする学生の意欲にこたえることができるよう、改善を行っていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
学校保健	2	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習（病院実習）、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」80.0%、「必須科目である」35.0%、「関心がある科目である」5.0%であった。授業では、今まで学修してきた知識を基礎に、できるだけ具体例を示し、グループワーク、ロールプレイ等を取り入れ、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②本講義では養護教諭として理解しておく必要がある事項について、基本的内容を中心に講義する。特に2年生後期に開講される「養護概説」との関連を考え授業を展開する。実務経験者としては、児童生徒の今日的な健康課題の解決に向けた実践事例等について、養護教諭の仕事と関連付けながら解説し、演習やグループワークを取り入れた。また、学生が興味がある健康課題についてテーマを設け、個人でプレゼンテーション作成をし、自身の課題としてテーマに取り組みるように授業内容を工夫した。昨年度の反省をうけ、プレゼンテーション作成については授業のオリエンテーションで提示し、学生の準備が十分できるように設定を工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は 80.6点 (±7.9) であった。理想的レベル(90点以上) 7名、(80点以上) は11名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識・理解に関しては、80.0%、思考・判断 83.0%、関心・意欲92.0 %であった。さら授業で基礎的な知識の定着を図りつつ、グループワーク等を通して応用力の定着を図るよう授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては、知識・理解の観点平均値4.7 (中央値5.0)、思考・判断の観点平均値4.6(中央値5.0) であり、到達度自己評価にはあまり差はないことが示された。関心・意欲は平均値4.7 (中央値5.0) であった。</p> <p>学生が知識・理解の観点において、基礎的な知識はある程度定着していると考えられる。さらに応用問題が出された場合に、基礎知識を活用し応用問題に対応できるように授業構造を改善していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性</p> <p>本科目は、「保健・医療関係科目」である。また、養護教諭一種免許状を取得するための「養護実習」の履修要件科目である。受講動機から見ても多くの学生が「資格取得に必要であるため」と80.0%が答えている。また、到達度自己評価では「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」平均値4.7(中央値5.0)、「専門分野において学びを深めたいと、意欲を持つことができた」平均値4.7(中央値5.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」平均値4.7(中央値5.0)「自分が学ぼうとする専門分野の課題を検討する力を得ることができた」平均値4.6(中央値5.0)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP、行動面から見ての内容の妥当性</p> <p>成績評価から見て、知識・理解に関する達成度80.0%であった。基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学校保健の授業を展開するにあたり、2年生後期に開講する「養護概説」との関連を考え授業内容を展開した。特に学校保健の全体の構造や学校保健組織活動、学校環境衛生活動、学校安全危機管理など養護教諭の執務に必要な基礎的な内容を中心に授業を行い、具体的な事例をもとに演習やグループワークを行った。また、養護教諭として求められている、現代的な健康課題への対応について、一人ずつテーマを設け、プレゼンテーションを作成し発表を行った。今年度は、他者評価と教師のコメントを参考に自己評価を提出し、今後の意欲につながるような授業構成を心がけた。</p> <p>学生の学修量の評価として「自分なりのノートを作成したり、調べたり、出身校の養護教諭の先生の話を知りたりした」、「採用試験の過去問を解いた」、「classルームに送られている追加の資料を印刷し読んだ」、「養護教諭のことについて調べる試験勉強をした」、「レジュメの見返し」などがあり積極的に授業に取り組む様子がうかがえた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は、養護教諭の一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識理解は概ね達成できたが、学校現場では臨機応変に対応することが求められる。基礎的な知識を定着させ、さらに学校現場で活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。また、事例検討会のシミュレーションをより効果的に授業内容に取り入れていきたい。</p> <p>さらに授業内容について基礎的な知識の定着を図るとともに、復習課題を設け応用問題等の提示をし応用力の養成に取り組んでいきたい。学生の担当教員への意見としては「授業に必要な知識を得るために自己学習を行った」、「わからない部分を調べた」、「資料などで理解を深める」、「ありがとうございました。スライド(作成)もがんばりました」などの意見があった。このような意見を励みにさらに授業内容の改善に務めていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅰ	3	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会的養護についての全体像を理解することを目的に教科書を中心に解説した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業参加度や定期試験の結果からも、全体的に十分に学習目標が達成されたとは判断できない。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容は妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

一方方向の講義では全体の内容の理解が促されられないので、教科書を中心に授業を進めた。授業中に学生に内容について問うこと等を通して相互作用と試みがあまりうまくいかなかった。受講学生のモチベーションもばらつきが大きく、特別な配慮を必要とするであろう。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

前段でも記述したが、受講の動機にばらつきが大きく、授業参加度の低い学生への動機付けについて一層の工夫を必要とする。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの健康と安全	2	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であるが、意欲が高い学生が多かった。講義形式での知識の伝達等に留まらず、演習の中で専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の「達成度自己評価」や成績評価からも概ね全員が目標を達成したと考えられる。課題に取り組む際に「図書館利用」「インターネット利用」については一部学生においては幅広いソースから学習の準備をしていたと判断できるが、学習準備性についても個人によって意欲・能力に差異があり、全員が期待する学習量を満たしている訳ではなかったが、授業への参加度は概ね全員が高かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習習慣が確立していない学生が一部存在するが、授業開始時の小テストは概ね全ての学生が意欲的に取り組んでいた。さらに具体的な学習方法の提示や、課題に対するアセスメントを行いながら、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入を行なっていきたい。特に資格取得に必要な科目であることから、教授内容を減らすことはできないため、学習意欲をいかに高めるかが重要であると考えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標にしている本科目であったが、受講意欲が高く、概ね目標は達成できたと考える。ただし、専門科目の演習であるため、本来は実習や演習等との組み合わせで往還的に知識・技術を使用することで定着するものであると考えます。そのため、2年生という学年と非常勤という立場から、本質的な意味での目標達成については、確認が取りづらい点がある。とはいえ、今年度の受講生の傾向から、スムーズな授業展開ができたと考えます。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子ども家庭支援論	4	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については「資格取得に必要である」60.0%、「関心のある内容である」40.0%であった。家族を主題として取り扱う科目は3年次まででないため、学習準備性においては実習での個々の経験や既習の専門科目による個人差があると考えられる。学生の学習意欲を維持・向上させながら、新たな知識や事象を理解する視点を得ることができるよう、多くの具体的事例や視聴覚教材を用いるなどの工夫を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)よりも「思考・判断」(DP2)に関する自己評価が高く、「思考・判断」(DP2)よりも「意欲・関心」「態度」「技能・表現」において自己評価がさらに高い傾向が見られた。これらをもとに、「知識・理解」においては「やや達成された」としたが、「思考・判断」「意欲・関心」「態度」においては「達成された」とした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性
本科目は保育士資格取得に必要な科目であり、新たな知識を習得するとともに、既習科目で得た知識を応用しつつ、いかに捉え、判断し、検討するか、その力を養うことが求められる科目である。このような点において一定程度の成果が得られたことから、CP、カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性に問題はないと考える。

②DP,行動目標からの内容的妥当性
それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

最終学年の授業であるため、単なる知識理解に終わらず、様々な社会事象に関心を向け、多角的な視点から捉えようとすることの重要性や面白さに学生自身が気づき、さらに学びを深めることに対していかに意欲を高めていけるかが課題であると考えます。授業の質の評価では、4.2~4.8の評価を得たが、学習量の評価や情報利用等において課題の残る結果であった。さらに改善に取り組んでいきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成度自己評価、授業の質評価等が示す数値と、学生の授業への取り組みや提出物などから、教育目標はある程度達成できたと考える。さらに学生の学びを深める意欲を高め、自発的学習に結びつくよう工夫していくことを来年度の課題としたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容の理解と方法Ⅰ	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「受講動機」の「必修科目である」が86%、「資格取得に必要である」が71%、「関心のある内容である」が14%であり、保育士に必要な科目であると同時に、関心をもって受講していることが示されている。ピアノ演奏経験においては個人差があるため、あらかじめピアノ経験の有無やレベルについてのアンケートを実施し、一人ひとりのレベルを把握した。そのうえで本講義の目標は、子どもの歌の弾き歌いを掲げており、ピアノ経験者であっても、弾き歌いの経験者は少ない。また、子どもの歌を知らない学生が増えてきている。そのため、弾き歌いを中心とした教材を選定し、全員の課題を共通させることにした。なお、歌い課題曲をすべてクリアした学生には、プリントを配布し、子どもの歌のレパートリーを広げる対応を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価について、理想的レベル（80点以上）に達した学生は4分の3であり、これらの学生の出席率は100%であった。授業の受講に向けて練習をした成果が成績につながったと考えられる。授業評価アンケートにおいて、学生が授業時間外にピアノの自主練習を行ったことが記述されており、学生が技術習得に向けて主体的に取り組んだことが示された。また、音楽の基礎知識においても入学前までに学習している学生とそうでない学生がいたが、必要に応じて個別指導を行うことによって全員が標準レベルに到達することができた。前期試験の結果から、大半の学生は一定程度の技術レベルに到達することができたと判断された。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性
本科目は1年次開講科目であり、保育専門科目の受講に対する動機づけにつながるという点で重要な科目であると考え。ピアノの基礎的な演奏技術を学びながら弾き歌いを行う、保育士として必要な技能のひとつである。学習準備性において個人差が大きかったものの、授業への取り組み、達成状況においてはある一定の成果が得られたことから、内容的には妥当であると判断できる。

②DP,行動目標からの内容的妥当性
それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性には問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートの授業の質について「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」および「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.7であり、「説明は理解しやすいものであった」、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は4.3であり、学生への課題表示および評価基準を授業の初めに告知したことが評価されたと考えられる。次年度は、ピアノ奏法の評価基準に加えて、目標の具体的な達成方法について、より具体的に示し、学生の試験に向けた取り組みに役立つような内容となるよう工夫していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成度自己評価の結果と日々の学生の取り組みの様子から、教育目標は一定程度達成できたと考えられる。本科目は1年時のみの開講であり2年次以降は個人の努力でさらにピアノ奏法のレベル向上に努めていくことが求められることから、学生の技術習得への意欲を高め、弾き歌いの楽しさについて伝えることで、自発的練習につながるようさらに工夫していくことを来年度の課題とした。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容の理解と方法Ⅲ	2	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」からも一定の達成度は得られたと考える。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育内容に深くかかわる科目であることから、関連DPについては妥当であると考えている。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方は概ね問題ないと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会福祉の原理と政策Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（3年次・必修）の1つである。内容は、主に社会福祉の諸原理と政策の立案・展開に関するものであり、学生にとってはやや難易度が高いと思われる。したがって、授業は教科書を中心に展開し、單元ごとにレジュメを作成した。また、重要語句やポイント等を判別しやすいようレジュメの内容・形式を工夫（書き込み式など）するとともに、図表・イラスト等も積極的に用いた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期末試験の平均は78.3点であり、この点において教育目標は達成したと考える。各DPの達成度について、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（かなりそうだと思う39.3%、わりにそうだと思う39.3%）であり、目標をある程度達成したと言える。「思考判断」（DP2）は、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」（かなりそうだと思う41.1%、わりにそうだと思う39.3%）であり、目標を達成したと言える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う33.9%、わりにそうだと思う44.6%）であり、目標をある程度達成したと考える。したがって、全体として目標はやや達成されたと言える。</p> <p>一方で、授業評価アンケートでは、「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」（していない73.2%）、「授業の予習」（0回64.3%）、「授業の復習」（0回55.4%）など、主体的・自発的学習態度が十分でない学生も多く見受けられ、この点、課題が残ったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

上述の通り、期末試験の平均は78.3点であった。また、各DPにおける学生の到達度自己評価においても、本科目の教育目標は総じてやや達成されたと判断でき、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ

本科目は、社会福祉士養成課程の新カリキュラム移行により、一昨年度より開講された科目である。期末試験の結果や教育目標の達成度を見ても、CP・カリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の教育目標はある程度達成されたものの、「学習量の評価」（授業の課題以外の学習への取り組み、予習・復習への取り組み）において、課題が残ったと言える。今後は、学生の主体的・自発的な学習態度を引き出す観点から、授業内容や教授方法などの工夫・改善を行っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生にとってはやや難易度が高いと思われた本科目であったが、教育目標はある程度達成したと判断できた。これには単元ごとのレジュメの作成、図表・イラストの積極的活用などが有効であったと考える。引き続きこれらの取り組みを行ってきたい。
一方で、学生の主体的・自発的な学習の促進という点では、昨年同様の課題が示された。授業を通して抱いた福祉への興味・関心を自ら能動的に深めていく学習態度をどう培っていくか、今後も考えていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会福祉調査の基礎	4	前期	選択	いいえ	55

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士国家試験の受験科目であるため多くの学生が参加していた。</p> <p>ただし意欲の点からすると苦手な数学のイメージから、及び腰の学生も多く見られた。統計的技法の習得に十分な数学的技能を備えていない者も多く、「統計の意味を理解する」ことに重点を置いた。数学Iにおけるデータの分析の学習状況は高校によって差が大きいと考えられる。統計の授業のオリエンテーションにおいても、計算が苦手でも必ず社会調査を理解することができるという授業のコンセプトを説明し、学生の動機付けに配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○2023年度：平均91.9 秀65.0% 優26.7% 良8.3% 可0.0% 不可0.0% 標準偏差6.71。</p> <p>○2024年度：平均点93.4, 秀76.4%、優21.8%、良0.0%、可1.8%、不可0.0%、標準偏差6.2。</p> <p>○例年同様良い結果であった。本年度は思考判断を要する問題などやや難易度を上昇させたが、上位層の成績が厚くなる結果となった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

国家試験に対応した科目であり、一定の基礎的な学習の上に展開する4年次科目として、内容的に妥当性があると考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

○本年度は、養護実習期間と開講時期が重なり前期期間中の異なる3週間を欠席するため、受講生の自学を支援する必要があった。

○以上の点を踏まえ本年度は

- (1) レジュメだけである程度理解できる教材づくり。
- (2) 授業内で学生の疑問や学習課題へ対応する。
- (3) 補講対象者以外の希望者も補講で指導する。

といった点を中心に全員合格レベルに到達する授業運営を心掛けた。昨年に引き続き難易度をやや高めたが、中位層が上位層に移行し、上位層のうち秀が増加する結果となった。4年前期の国家試験科目であることなども踏まえて基礎基本の徹底というやり方は適切であったと考ええる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○次年度は授業内容のレベルを維持しつつ、試験レベルをもう少し難化させたい。ただし、本年度同様、可や不可がないような理解と知識の定着を目指したい。

○本年度は前期授業の学習を夏季休暇中の国家試験対策講座へつなげ、後期もGoogle Classroomの機能を活用しながら学習補助を続けている。そのあたりの効果も踏まえて次年度の改善を行いたい。

○後期からのClassroom上の自主学習教材として、スライド資料に加えて音声ファイル作成に取り組んでいる。学生の反応を見ながら、音声教材を授業にも取り入れることを検討したい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワークの基盤と専門職	1	前期	必修	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験に関する科目である。特段、社会福祉専門職になるための基盤となる科目であり、本学科で非常に重要な科目であることから、動機付けを大切に講義している。</p> <p>第一回目の講義時に受講に関しての詳細の説明をし、シラバスに則って講義を進めた。講義の最初には、新聞等から毎時間必ず時事に関する話題を提供し、それが社会福祉専門職としてどのように捉えたらよいかを考えさせる時間を設けた。予習復習の内容の説明、理解しておくべきキーワード、実践につながるように専門職能団体の研修会案内等々も随時行った。リアクションペーパーに関しては、予習復習の時間の記入や、その方法、また本日の自己採点点数記入などを導入し、学習意欲の向上に努めるよう工夫した。また、昨年度より新カリに移行し、前期が本講義、後期が（専門）となり、それぞれでの評価をすることを説明した。</p> <p>学生の反応に関しては、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員が合格領域に到達しており、標準的レベル以上に達成したものと考えられる。定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。また、遅刻や欠席がほとんどなく、定期試験の結果も理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけではなく、幅広く社会福祉専門職としての現状や考え方、障害福祉、精神保健福祉、貧困等々の多岐にわたる分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格を取得するための必須専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、社会福祉を学ぶための1年生で開講する基礎的科目であることから、福祉専門職に興味があるということで、非常に高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解は一定程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができる」の平均点が低かった。必修科目であり、多くの人数が受講する座学であるがゆえ、なかなか困難かと思うが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討していき、引き続き次年度の課題としたい。学術データベースの利用に関しても殆どなされていない現状であり、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、指導を行いたい。毎時間、予習復習の具体的情報提供を行うことも続けていきたい。次年度も、更なる工夫をすることを考えていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということと、福祉学科に入学して初めての福祉の専門科目ということで、非常にモチベーションの高さを感じられた。また、今から開講される、社会福祉士や精神保健福祉士の関連科目とのつながりを考えて、思考が継続できるように講義を行った。次年度も、それらに引き継ぐような関連性を持ちながら講義を行いたいと考える。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回福祉業界の時事に関する資料配布し、その説明を行い、福祉専門職としての理解を深められたと感じられる。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、「必修科目である」89%、「資格取得に必要である」27%、「関心のある内容である」8%であった。本科目は1年次の「ソーシャルワークの基盤と専門職」の習得内容の理解を前提としており、2年次より開始となる「ソーシャルワーク実習」に臨むうえで習得理解しておくことが前提となる科目である。また、1年後期科目である「ソーシャルワーク演習」において実践的に学んだ内容を理論的に説明・理解する位置づけでもあり、これらの相互に関連する科目の学習内容と求められる理解を意識しつつ、ソーシャルワークを学ぶことへの意欲・関心が高まることをめざした。できる限り事例を取り入れ実践的な解説を添えることで理論をわかりやすく理解できるよう努めており、具体的なイメージを膨らませること、理論と実践を結びつけることの重要性を学生が実感し、専門分野についての学びを深める意欲につながることを願っている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの学習到達度の自己評価において、「知識・理解」(DP1)に関しては「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う67.6%、わりにそうだと思う18.9%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う59.5%、わりにそうだと思う24.3%)、「関心・意欲」(DP3)に関しては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う59.5%、わりにそうだと思う27.0%)であった。なお、授業評価アンケートの回答者数は37名であり、受講者数の52.9%の回答である。総合的な成績評価の平均は80.9点であり昨年度受講学生の評価平均より10点上昇した。定期試験の再試験対象者数は70名中6名だったが、再試験を受験した学生は全員クリアできたことを含め、本科目における教育目標は「達成された」とした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP,カリキュラムマップ上の位置づけから見た内容的妥当性
本科目は福祉専門科目の中で核となる科目であり、実習や演習との連結においても重要な科目である。他の関連科目での学習内容も取り入れつつ、「ソーシャルワーク実習」に臨むうえでの学習準備性が整えられることを意識した授業内容と展開を心掛けた。学生の学習到達度自己評価や総合的な成績評価等から、カリキュラムマップ上の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。

②DP,行動目標から見た内容的妥当性
4(2)に記述した通り、学生の学習到達度自己評価や定期試験結果、総合的な成績評価等から、DPの観点別に見た内容的妥当性に問題はないと考える。

③まとめ
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の質評価」においては、平均値3.9～4.5であった。「学習量の評価」においては、1回30分程度以上の予習を一度も行っていない学生が54.0%（昨年度40.7%）、復習を一度も行っていない学生が43.2%（昨年度25.4%）と昨年度より高い割合となった。自由回答にはその理由として「授業内容で十分理解できた」との記述が見られた一方で「時間がなかった」「難しかったから」「やり方がわからない」などの回答が見られた。さらに多くの学生が学びを深めたい意欲をもち、自発的学習につながるような授業の展開を工夫していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の学習到達度の自己評価においては、該当するDP「知識・理解」「関心・意欲」において83.8～86.5%の学生が概ね到達できたと回答しており、成績評価の平均値においても上昇が見られた。一方で、学生の自発的学習に向かう姿勢においては課題が残ったことから、授業内容の見直しを行うとともに授業の展開についてさらに改善に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	中川 美幸

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	3	前期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>講義形式の授業であるが、テキストの内容を理解しやすいよう、毎回事例を交え、わかりやすく説明するよう努めた。また、学生が復習するよう、定期的な授業のまとめを行ってもらい提出してもらった。自由記述の中にも、まとめる作業があることで、自分で勉強する時間を確保できた、との意見があったことから、まとめの課題は、学生が復習する時間を確保する上で有効であったと考える。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験受験に必要な科目であり、講義形式の授業であるが、達成度自己評価は全体に平均値3.4～4.1であり、まずまず成果はあったと評価する。また、学生の自由記述の「わかりやすかった」などの回答や、「説明は理解しやすかった」の平均値4.3からも学習の効果がある程度あったと感じている。また、回答で、まとめ課題があったことが予復習につながっていたこともわかり、自己学習を促す効果も、一部あったと感じている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

「到達度の自己評価」、自由記述などから、本科目の位置づけからみた内容にはある程度妥当性があると考えている。しかし、今後は学生が受け身でなく、自分なりに到達目標などを考えられるような工夫が必要だと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方、まとめ課題などは「授業の質の評価」や学生の自由記述からも今のままで良いと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体的な方向性は現状を基本とする。昨年度、課題としてあげた学生の自己学習を促す機会を増やす工夫として、自己学習でレジメをまとめることは学生の復習の機会につながっており、継続していく。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期は、地域福祉の基礎概念や民生委員、社会福祉協議会、共同募金等の地域福祉を推進する主体について講義を展開した。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。① 講話法を中心とした講義の展開が主であった。地域福祉の視点は、福祉専門職のみならず、教職・保育などと地域を担う支援者において横断的な理解が求められる。そのため3年次以降の本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。③ レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。④ 本講義の特性上、地域福祉に係る知識の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度は、全員が標準的レベル及び理想的レベルに概ね達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、(5)「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」が平均値4.3と最も高かった。次に(6)「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」、(9)「職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた」が平均値4.2であった。3「授業の質評価」は平均値4.0-4.5の水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、地域福祉の観点からその知識について問うものである。地域福祉の概念・歴史、法律・制度、近年の地域福祉の問題等については、広範な情報量となるため、現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士・精神保健福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、地域福祉の概念・歴史、法律・制度、サービスを理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は地域における地域福祉の推進の主体や概念、近年の地域社会における福祉的課題の現状を踏まえて、地域における地域住民の役割、地域の支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の地域福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による地域の実情(福祉的課題、地域の動向等)、福祉法制度・サービスの動向を注察する必要があるが、本年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価から表現技能に関する達成度が比較的低かったが、今後の社会状況の変化による地域の実情(福祉的課題、地域の動向等)、福祉法制度・サービスの動向等についての表現の機会が少なかった点では方法的妥当性の問題である。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題(具体的な事例)を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値3.6と全体数値よりも低かった。本科目は地域における地域福祉の推進の主体や概念、近年の地域社会における福祉的課題の現状を踏まえて、地域における地域住民の役割、地域の支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の地域福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。そのため、考え、話し合い、発表する機会が少なかった。次年度に向けて関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値3.6と全体数値よりも低かった。しかしながら、本科目は講義科目である性質を踏まえ、前期にて教授した地域における地域福祉の推進の主体や概念、近年の地域社会における福祉的課題の現状を踏まえて、地域における地域住民の役割、地域の支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の地域福祉の展望等については学生に対して講話法やレジュメ資料・映像資料等を通して伝えることができたと考え。より学生の学びの理解を深めるためには、前記のように学生の考え、話し合い、発表する機会を設けるための工夫を行っていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
福祉サービスの組織と経営	4	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の応用と深化」をねらいとした福祉専門科目である。受講動機を見てみると、「必修科目である」が52%、「資格取得に必要である」が86%、「関心のある内容である」が14%、「単位数を確保する」が10%、「GPAをあげる」が10%、「友人が履修している」が5%となっており、多くの学生が資格取得のための履修である。組織と経営という、学生にとってはなじみがあまりない内容を含む科目であるため、新聞記事で時事的な問題を提示したり、実習での体験と結びつけられるような話題を提示したりして、できるだけ学生が身近な内容としてとらえられるよう工夫した。また4年次の科目で国家試験を間近に控えているため、過去問を適宜提示し、授業内容と国家試験問題の内容が結びつくようにした。また毎回のコメント提出の課題により学生の質問や意見等を求め、次回の講義の冒頭で質問等に答えるなどのフィードバックを行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均点は81.2点、中央値は80点であり、優秀な成績であったが、再試対象者が5名いた。評価割合はA評価37%、B評価12%、C評価27%、D評価10%、E評価10%となっており、A・B評価が約5割を占めているが、E評価も1割いた。成績下位の学生に応じた教授方法について次年度以降も工夫していきたい。</p> <p>学生の自己評価の「自分なりの目標を達成した」の項目は平均値3.8、中央値4.0であった。このことから、目標は「やや達成された」と判断した。DP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考えを得ることができた」の平均値は4.2、4.1、中央値は4.0であり、目標は「達成された」と判断した。またDP2に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値4.3、4.2、中央値4.0であり、目標は「達成された」と判断した。DP3に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値3.9、中央値4.0であり、目標は「やや達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>4. で記したとおり、学生の成績、自己評価からは内容的には概ね妥当であったと考えられるが、本科目は社会福祉士の国家試験科目であるため、特に成績下位の学生に向けて理解を高められるようなわかりやすい講義内容に改善していきたい。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>上記にも記したとおり、学生の理解をさらに高めていくような取り組みが必要である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は、各項目の平均値が4.0-4.5、中央値が4.0-5.0であった。「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目において「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名ずついた。また「説明は理解しやすいものであった」の項目において「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。全ての学生にわかりやすい丁寧な説明を心がけていきたい。</p> <p>学習量の評価の「自発的学習」については、「取り組んだ」と回答した学生が57.1%であった。学生の自由記述をみると、「ノートにまとめた」「国試の問題を解いた」などの記述がみられ、講義内容を通し国家試験の勉強につながっていたことから、今後も講義内で意識づけを行っていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の応用と深化」をねらいとした福祉専門科目である。組織と経営という学生にとっては身近でない内容を含むため、特に成績下位の学生に向けて、わかりやすい講義内容、レジュメ作成を行って理解を促すとともに、できるだけ学生が身近な話題としてとらえられるような工夫や、事例等を用いたアクティブラーニング等を取り入れ、さらに分かりやすくする工夫に努めていきたい。</p> <p>今回のアンケートは、履修者47名に対し、回答者は21名であった。次年度はアンケートの回収率を上げられるようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会保障Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は37名（回答率49.3%）であった。受講動機を見ると、「必修科目である」100%、「資格取得に必要である」30%であった。本学科における必修科目であるとともに、社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、医療保険・介護保険を中心に、法改正が頻繁に行われる社会保障制度について、最新の情報を提供することに努めた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価は、授業中の確認テスト・コメント、前期試験を用いて行った。素点の平均点は73.30点（福祉・養護教諭コース2年75.17点、子ども家庭福祉コース2年73.88点）であった。全体の平均点は昨年度をやや上回っている。また、再試対象者は10名（ほか、出席数不足2名）、理想的レベル（90点以上）に達した者は10名であった。</p> <p>到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値はともに4.3、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均値は4.2であり、その他の項目について、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」を除く項目の平均値は3.8-4.1であった。やや項目ごとにばらつきはあるものの、平均値はほぼ昨年度並みの数値を示している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「必修科目」、「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であると考えます。

②DP行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考えます。よって、内容的妥当性には問題ないと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.5、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は4.4、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は4.3、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.2であった。これについては、いずれの項目も昨年度より平均値がやや上回っている。

学習量について、予習をしていない学生が26名、復習をしていない学生が21名と、いずれもアンケートに回答した学生は授業以外の学習をしていない状況にある。授業以外の課題に取り組んでいない理由については、「授業の内容で十分だと思った」、「時間がなかったから」、「取り組み方がわからなかったから」などの回答がみられた。他方、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習について「復習」、「教科書をよく読んだ」、「自分なりにノートにまとめた」などの回答があった。

学生の意見について、「ありがとうございました。おばあちゃんが入院したりなどで、講義の内容が理解できていたから役に立ちました」との感想があった。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特にないと考えます。後期の「社会保障II」でも、引き続き社会保障制度の知識理解、意欲関心を高めていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
高齢者福祉	2	前期	必修	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、2年生を対象とした福祉専門科目（必修）であり、社会福祉士指定科目の1つでもある。授業は教科書を中心に展開し、単元ごとにレジュメを作成するなど、学生の内容理解を助けた。また、重要語句やポイントが判別しやすいようレジュメの内容・形式を工夫した（レジュメを空欄にし、学生が直接記入）。さらに、毎回の授業後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期末試験の平均は72.3点であった。再試験の受験者は12名おり、このうち5名が不合格となった（2名は再試験受験なし、1名は手続きなし）。各DPの達成度について、学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（わりにそうだと思う28.1%、かなりそうだと思う56.1%）となっており、目標は達成されたと言える。「思考判断」（DP2）については、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」（わりにそうだと思う36.8%、かなりそうだと思う38.6%）であり、目標をある程度達成できたと言える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（わりにそうだと思う31.6%、かなりそうだと思う47.4%）であり、これも目標をある程度達成できたと言える。</p> <p>一方で、授業評価アンケートからは、本科目を通して知識の修得はできたものの、学生の主体的学習態度を引き出すと言う点で課題があることが明らかとなった。例えば、学生が授業の課題以外に学習に取り組んだ割合は、「していない」（64.9%）であった。また、授業参加のための準備学習（30分程度の予習）をしていない学生が56.1%、授業の復習をしていない学生が43.9%見られた。</p> <p>以上を踏まえ、全体としての教育目標は「やや達成された」と言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
試験結果および各DPの学生の達成度自己評価結果（全体として教育目標は「やや達成された」）から見て、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ
本科目は福祉専門科目（必修）であり、社会福祉士指定科目でもある。ソーシャルワーク実習Ⅰ（2年次）の領域の1つに高齢者福祉領域があることから、本科目の配当年次に問題はないと考える。また、教育目標もある程度達成しており、CP・カリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

全体の教育目標としては「やや達成された」と判断できる一方で、試験結果（再試験者12名）や学生の主体的な学習態度（授業課題以外の学習への取り組み、予習・復習）といった点では課題が残ったと言える。昨年度同様に、毎回の授業ごとに予習・復習のポイントを的確に提示し、学習量の確保や主体的な学習態度を促していく必要があると考える。また、課題を課すことも検討する必要があると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

上述の通り、試験結果においては再試験者が12名存在した。一方で、80点以上を得点した学生が15名（うち90点以上は9名）見られ、個々の理解度・習熟度に差があることが推察された。今後は、毎回提出させるコメントカードの内容を踏まえた復習や小テストの定期的実施も必要と思われる。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
児童・家庭福祉	2	前期	必修	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>すべての子どもが適切に養育され、生活と成長・発達保障され、その意見が尊重されること、保護者の子育てや子育て家庭の生活を社会全体で支えていくことなど、子ども家庭福祉の理念とその実現のための法制度の整備や子ども家庭福祉領域でのソーシャルワーク実践がいかに進められているのかを取り上げる授業である。学生の受講動機としては、「必修科目である」95%、「資格取得に必要である」27%に対し、「関心のある内容である」は8%と極めて低い割合にとどまっている。養護教諭や保育士など、子どもと家庭を支援する職種を目指す学生にとっては特に重要な科目であるため、現代社会における子どもと家庭をめぐる状況や諸問題について事例などを取りあげるとともに、社会構造や人々の価値観の変化などについても詳細に取り上げることにより問題意識や多角的な視点をもつきっかけとなることを目指した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの学習到達度の自己評価において、「知識・理解」(DP1)に関しては「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う67.6%、わりにそうだと思う21.6%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う48.6%、わりにそうだと思う35.1%)、「関心・意欲」(DP3)に関しては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う54.0%、わりにそうだと思う27.0%)であった。なお、授業評価アンケートの回答者数は37名であり、受講者数の53.6%の回答である。総合的な成績評価の平均は77.0点であり昨年度受講学生の評価平均68.9点より9点上昇した。定期試験の再試験対象者数は69名中3名だったが、再試験を受験した学生は全員クリアできたことを含め、本科目における教育目標は「達成された」とした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見た内容的妥当性
本科目は福祉専門科目のうちの一科目であり、教職に関する科目、保育関係科目、福祉心理臨床科目を学ぶ上でも基盤となる内容を含む科目である。他の関連科目での学習内容との関連や子どもと家庭を支援する専門職としての意識形成も念頭に置きつつ、授業内容と展開の組み立てを心掛けた。学生の学習到達度自己評価や総合的な成績評価等から、カリキュラムマップ上の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。

②DP行動目標から見た内容的妥当性
4(2)に記述した通り、学生の学習到達度自己評価や定期試験結果、総合的な成績評価等から、DPの観点別に見た内容的妥当性に問題はないと考える。

③まとめ
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の質の評価」においては、平均値3.9～4.5であった。「学習量の評価」においては、1回30分程度以上の予習を一度も行っていない学生が70.3%（昨年度53.6%）、復習を一度も行っていない学生が51.4%（昨年度30.4%）と昨年度より高い割合となった。自由回答にはその理由として「授業内容で十分理解できた」「授業で理解するように努力した」との記述が見られた一方で「時間がなかった」「難しくやる気になれなかった」「やり方がわからない」などの回答が見られた。より多くの学生が学びを深めたい意欲をもち、自発的学習につながるような授業の展開を工夫していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の学習到達度の自己評価においては、該当するDP「知識・理解」「関心・意欲」において81.0～89.2%の学生が概ね到達できたと回答しており、成績評価の平均値においても上昇が見られた。一方で、学生の自発的学習に向かう姿勢においては課題が残ったことから、授業内容の見直しを行うとともに授業の展開についてさらに改善に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
貧困に対する支援	3	前期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は37名、回答率は49.3%であった。受講動機を見ると、「必修科目である」92%、「資格取得に必要である」57%であったほか、昨年度は3.2%であった「関心のある内容である」22%と大幅に上昇した。社会福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置くとともに、生活保護の被保護者に対して、ネットではびこっている偏見を決して鵜呑みにすることのないよう、生活保護制度の理念・原理・原則や生活保護・生活困窮者自立支援制度の正確な内容、および被保護世帯の実態を正確に伝えることに重点を置いた。なお、今年度から実習に伴う補講をオンデマンドで行い、土曜日に補講は実施しなかった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価は、授業中の確認テスト・コメント、前期試験を用いて行った。素点の平均点は71.85点（福祉養護教諭コース73.03点、子ども家庭福祉コース64.75点）であった。理想的レベル（90点以上）に達した者は5名、不可と評価した者は8名であった。平均点は昨年度とほぼ同様である。</p> <p>到達度自己評価について、「職業選択の参考になった」の平均値が3.9だったほかは、「コミュニケーション能力や表現力を高めることができた」を除く項目の平均値はいずれも4.0-4.1であった。全体的に昨年度とほぼ同様の数値を示している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「必修科目」、「福祉専門科目」であり、社会福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であると考えられる。

②DP行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考えられる。よって、内容的妥当性には問題ないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.4、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は4.3、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」、「説明は理解しやすいものであった」の平均値はいずれも4.2であり、昨年度とほぼ同水準を維持している。

学習量の評価について、「1回30分程度以上の準備」を行っていない学生は23名、「1回30分程度以上の復習」を行っていない学生は16名、授業以外の課題に取り組んでいない学生は23名で、学習をしていない割合は昨年度よりやや減少している。授業の課題以外に学習していない理由として「授業で十分だった」、「他の教科の課題で忙しかった」、「時間を確保できなかった」、「確認テストやプリントで復習できていたから」という意見が見られた一方で、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習に「その日の授業内容のプリントを見てパソコンにまとめた」、「自分の住む町で、貧困に対してどのような支援が行われているか調べた」、「興味を持ったことやそれに関する出来事をインターネットで調べるなどした」などの回答があった。

学生からの意見について、「15回の講義ありがとうございました。オンデマンドもあり楽しく講義を受けることができました」、「毎回、コメントカードで学生からの質問に答えてくれてありがとうございました」、「新しい知識を得ることが出来ました。ありがとうございます」など、学生が授業内容に満足している感想が見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

福祉専門科目であり、かつ社会福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断についてはある程度達成できたといえる。また、出席率についても、出席率が80%以下の学生の割合が27%と、約4割にのぼった昨年度より改善されている。これについては、実習に伴う補講をオンデマンドで実施し、土曜日の補講を廃止したことも大きいと思われる。意欲関心については、さらなる出席率の向上に向けて努力したいと考えている。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保健医療と福祉	2	前期	選択	いいえ	66

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>様々な領域に専門職として就くことを目指すのであれば、医療領域を目指す者だけがこの科目を学べば良いのではない。また、国家試験のためでもない。自分自身、家族を含めかかわりを持つ子ども、高齢者、障害者一人ひとりの健康面で病気、ケガをしない者はいないと考える。他人事ではなく我がごととして理解しておくことが求められることを説明し講義した。また、現代社会において起きている事象に関心を持ち、突然に襲う病行やケガから経済的、社会的精神的な問題を抱え苦しんでいることを対象者と出会ってから知るのではなく人々の実情を理解できるよう具体的に話した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価は一応の理解はできるものとする。いずれの項目も平均値は高く、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」が高かったことは評価できると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

到達度自己評価は一応の理解はできるものの、「受講動機」が「必修科目である」「資格取得に必要である」に回答するものが半数前後いたことは国家資格を目指していることの表れだと考える。しかし、「到達度自己評価」に積極的に学ぼうとする姿勢を感じられる点が見られたのは評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

シラバスに沿い、教科書を中心に進めたものの、解説（現場での在り様）が拡がり、結果として1セッションごとに講義が終わらず、理解し辛かった点は反省する。しかし、実践的な話に対しての興味をもってくれる者もあり、今後は解説とともに区切れよく講義を進めていくことにする。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の進路がいずれの領域になるにしても、医療は切り離せるものではなく学んでおくべきだと思う。実践現場における問題や起こりうることなどに対応できる知識の習得と考えるあまり、話が多くなってしまったことは反省する。しかし、具体的に援助していく際にどのように理解し解決調整して行くのかを判断して行けるよう指導していきたい。数は少なくとも意図したことを理解してくれ「ノートのため」や「調べ学習」をしているなどのコメントから学ぼうとする姿勢を感じられる学生もいることから達成していると判断する。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
刑事司法と福祉	4	前期	選択	いいえ	58

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は16名、回答率は27.6%と、履修者の約4分の1、昨年度（司法福祉論）の約半数にとどまった。受講動機を見ると、「資格取得に必要である」69%、（卒業必修科目ではないが）「必修科目である」63%、「関心のある内容である」31%であった。昨年度までの司法福祉論から科目名が変更となり、社会福祉士指定科目から社会福祉士・精神保健福祉士共通科目となったことに伴い、講義内容の関心よりも資格取得のために履修した学生が多いと思われる。</p> <p>内容としては、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、主な支援の対象者である保護観察対象者も社会の一員であり、先入観や偏見を抱かせないことに重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価は、授業中の確認テスト・コメント、定期試験で行った。素点の平均点は73.72点、理想的レベル（90点以上）に達した者は10名、再試対象者は6名（ほか、追試対象者と出席数不足が各1名）であった。平均点は昨年度(78.28点)より4点以上下降しており、学生間の成績格差が拡大している。</p> <p>到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値がいずれも4.3、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値がいずれも4.2であり、他の項目の平均値も「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」を除く項目で4.0-4.1の範囲内にあった。全体的に昨年度（司法福祉論）並みの平均値を示しており、アンケートに回答した学生の関心、意欲の高さが反映されていると思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生がほとんどであり、学生の講義に対する動機付けは非常に高い。履修者の過半数が理想的レベルであることから、内容的には妥当であると考ええる。

②DP行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考ええる。よって、内容的妥当性には問題ないと考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値はいずれも4.6、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.5、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は4.2で、昨年度とほぼ同様の数値を示しており、これもアンケートに回答した学生の関心の高さに応えたものといえる。

学習量について、「1回30分程度以上の準備」を行っていない学生は10名、「1回30分程度以上の復習」を行っていない学生は5名、授業以外の課題に取り組んでいない学生は11名であったことから、アンケートに回答した学生は復習に力を入れている傾向がみられる。授業の課題以外に学習していない理由として、「授業で理解できたから」、「時間がなかった」、「取り組み方が分からなかった」などの意見が見られた。また、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として「気になるところを調べた」、「分からないところを調べました」などの回答があった。

学生からの意見は、特になかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもについてはある程度達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特になく考えている。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（2年次対象・選択）の1つであり、ソーシャルワーク（専門）Ⅱ・Ⅲ・Ⅳと連動し、教員4名のオムニバス形式で展開している。主な内容は、各教員の専門領域（障害福祉、高齢福祉、医療福祉、学校福祉）における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「必修科目である」（78.9%）が最も多く、次に「資格取得に必要である」（50.0%）が見られた。一方、「関心のある内容である」は7.1%となっており、学生の関心・意欲等を高める授業内容・展開を工夫する必要があると考える。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成度について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「思考判断」（DP2）は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（かなりそうだと思う28.6%、わりにそうだと思う57.1%）となっており、目標は達成されたと考える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う64.3%、わりにそうだと思う14.3%）であり、目標はやや達成されたと考える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う50.0%、わりにそうだと思う21.4%）であり、これも目標はやや達成されたと考える。「技能表現」（DP5）は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」（かなりそうだと思う35.7%、わりにそうだと思う42.9%）、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」（かなりそうだと思う35.7%、わりにそうだと思う35.7%）であり、目標はやや達成されたと考える。</p> <p>また、学習量の評価（予習0回64.3%、復習0回50.0%）や授業課題以外の学習への取り組み（「なし」57.1%）を見ると、学生の主体的学習態度の涵養という点でも課題が残ったと言える。</p> <p>以上のことから、本科目の教育目標は全体として「やや達成された」と考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ
学生の到達度自己評価による教育目標の評価結果は全体として「やや達成された」と判断できる。本科目はソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ（2年次、3年次）の履修を前提とした科目であり、DP上の位置づけに問題はないと考える。

②CPカリキュラム上の位置づけ
本科目はソーシャルワークの専門的視点、態度、知識、技術を実践的に修得するものである。これらの学びはソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ（2年次、3年次）の展開において不可欠であり、本科目のCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

全体として教育目標は「やや達成された」と考える一方で、学生の学習量の確保や主体的学習態度の涵養という点では課題が残った。既述の通り、本科目はソーシャルワークⅡ・Ⅲ・Ⅳと連動しながら各専門領域の援助実践を学ぶ科目である。今後は明らかとなった課題について担当教員と共有し、改善策を検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

上述の通り、教育目標はやや達成されたものの、授業運営においてはいくつかの課題が見られた。引き続き担当教員間の連携を図り、授業内容・展開方法の質の向上を目指したい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次の社会福祉士指定科目であり、「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみると、「必修科目である」が73%、「資格取得に必要である」が36%、「関心のある内容である」は0%であり、多くは資格取得のための履修である。</p> <p>本科目では、福祉的課題を抱えた人々に対する支援事例を活用し、ソーシャルワークの展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。本演習は2年次の学生が対象であり、ソーシャルワークの専門的知識を習得する前段階での演習となるため、ソーシャルワークに関する基礎的な知識や技術等を再確認しながら、実習で実践的に用いられるソーシャルワークの視点や職業倫理、援助技術を習得できるような内容となるよう工夫した。そのため、ロールプレイの機会等をできるだけ設けるようにした。また、ソーシャルワークの実践ではチームアプローチが基本となるため、グループワークを基本とし、学生同士の意見交換から課題解決を導けるような演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は、76.9点、中央値は78点であり、平均的な成績であった。出席率が低い学生が多く、授業への参加度が低かったことが要因である。学生の学習到達度の自己評価は、「自分なりの目標を達成した」の平均値4.4、中央値4.0で、目標は「達成された」と判断した。各項目をみると、DP2の「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値4.7、4.5、中央値5.0、DP3の「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が平均値4.6、中央値5.0、DP4の「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が平均値4.5、中央値5.0、DP5の「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値4.5、4.7、中央値5.0であったため、目標は「達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本演習は「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4. に記したように、内容的妥当性には問題がなかったと考えられる。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性
上記同様、内容的に妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業の質評価の各項目は、平均値4.1-4.8、中央値4.0、5.0であったため、授業の質は概ね問題なかったと判断した。ただし、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の項目において、「少しそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。評価基準は学生にとっては重要事項であるため、オリエンテーション時に全員に周知できるよう、丁寧に説明を行うようにしたい。

自発的学習については、「取り組んだ」と回答した学生が36.3%に留まった。「していない」学生の回答では、「課題で復習できた」「課題の内容が十分であった」とあり、また「取り組んだ」学生の回答では、「分からない単語が出てきた時に検索をした」「授業の中で分からなかった用語を調べ知識を増やした」とあった。演習に関連する内容での復習や自発的学習に取り組んでいることから、授業の中で発展的に学ぶ内容等を提示する試みを行っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。また4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価により、概ね授業の目標は達成されたと考える。次年度以降は、学生の自発的学習を促す取り組みを工夫していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、これまでの相談援助系の科目を通して学んだことを踏まえて、1いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、2課題を抱えた人々(当事者)の状況、3ソーシャルワーカー(社会福祉士)による具体的な支援内容、4ソーシャルワーカーに求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めることを本授業の目的とした。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。</p> <p>① グループワーク等を中心に、基礎的な視点に基づき、本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。</p> <p>② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。</p> <p>③ 講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。</p> <p>④ 本講義の特性上、福祉的な問題の理解や実際のコミュニケーション技術の方法等の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(7)「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」、(8)「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値4.6と最も高く、(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」は平均値4.5であった。3「授業の質評価」は4.5-4.9の水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、相談援助に携わる上で、①いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、②課題を抱えた人々(当事者)の状況、③ソーシャルワーカーによる具体的な支援内容、④ソーシャルワーカーに求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めた。今後も現代の社会福祉問題に関連させ、ソーシャルワーカーの社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤に基本的なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の基礎を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、社会福祉の基礎的な知識や技術を学ぶ科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、ソーシャルワーカーがどのような倫理と価値をもち、実践するのか等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、本年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。職業選択に関する達成度が比較的低くかった。しかし、3年生の段階では自分自身の将来の選択肢について、その専門性を高め、自己内省を深め自己決定をしていくものであるため、本科目を学んでの今後の学生の成長を注察したい。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、(10)「職業選択の参考になった」は全体の全体数値よりも低かった。本年度は、地域社会における福祉の問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもち、グループディスカッションに取り組むことができた。科目の性質上、社会福祉における知識・技術、価値、専門性をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面においてソーシャルワーカーが社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。学生の意見として、授業での学びを深めるために、課題を提示し、その学びを整理するとともに、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
---	---

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総合的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉実践の展開を学ぶ位置づけであることから、相談援助における基礎的知識の形成と事例を通してみた福祉専門職としての実践の在り方については概ね達成できたが、地域や多様な生活場面に応じた実践をする上での相談援助技術の面で課題を残した。この点は、次のソーシャルワーク演習(専門)IIにおいてソーシャルワーカーが対応する実践事例の検討や演習活動を取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示することを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	中川 美幸

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現場経験を基本にした事例を用いながら、個人ワークとグループワークを取り入れた。個人ワークでまず、自分で考え、グループワークでは、自分の考えを発現する力、他人の意見を聞く力がつくことを意識し、授業を進めた。また、質問については、授業中やワークシートの感想を提出してもらったときに記入してもらうよう伝え、質問があった場合には、翌週に全員で共有できるよう配慮した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「学習到達度の自己評価」4.3～4.8、「学習量の評価」では自己学習の様子も見られ、授業内容は有効であったと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機の多くは、「必修科目である」からだが、到達度の自己評価で「自分なりの目標を達成した」が4.5であることから、内容的妥当性はあると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、「授業の質評価」4.4～4.9であり、このまま継続予定。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体としては目標は達成したと考える。今後、さらにわかりやすさや、学生の自己学習の向上につながるよう努力したい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	3	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（3年次対象・選択）の1つであり、ソーシャルワーク（専門）Ⅰ・Ⅱ・Ⅳと連動し、教員4名のオムニバス形式で展開している。主な内容は、各教員の専門領域（障害福祉、高齢福祉、医療福祉、学校福祉）における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「資格取得に必要である」（91.7%）が最も多く、次に「必修科目である」（50.0%）が見られた。一方で、「関心のある内容である」は16.7%となっており、学生の関心・意欲等を高める授業内容・展開を工夫する必要があると考える。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成度について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「思考判断」（DP2）は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（かなりそうだと思う25.0%、わりにそうだと思う50.0%）となっており、目標はやや達成されたと言える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う25.0%）であり、これも目標はやや達成されたと考える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う25.0%、わりにそうだと思う41.7%）であり、目標はやや達成されたと言える。「技能表現」（DP5）は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」（かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う25.0%）、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」（かなりそうだと思う25.0%、わりにそうだと思う33.3%）であり、目標はやや達成されなかったと言える。</p> <p>以上のことから、総じて教育目標は「やや達成された」と考える。しかし、学習量の評価（予習0回33.3%、復習0回50.0%）や授業課題以外の学習への取り組み（なし66.7%）を見ると、学生の主体的学習態度の涵養という点で課題が残ったと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP上の位置づけ

学生の到達度自己評価による教育目標の評価結果（「やや達成された」）から、DP上の位置づけに問題はないと考える。

②CP,カリキュラム上の位置づけ

本科目はソーシャルワークの専門的視点、態度、知識、技術を実践的に修得するものである。これらの学びはソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ（2年次、3年次）の展開において不可欠であり、本科目のCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教育目標は「やや達成された」と評価できる一方で、学生の学習量の確保や主体的学習態度の涵養という点では課題が残った。既述の通り、本科目はソーシャルワークⅠ・Ⅱ・Ⅳと連動しながら各専門領域の援助実践を学ぶ科目である。今後は明らかとなった課題について担当教員と共有し、改善策を検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本年度、科目の教育目標はやや達成された。今後も引き続き担当教員間の連携を図り、授業内容・展開方法の質の向上を目指したい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	3	前期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみると、「必修科目である」が80%、「資格取得に必要である」が80%、「関心のある内容である」が10%、「単位数を確保する」が10%であり、多くは資格取得のための履修である。</p> <p>本科目では、福祉的課題を抱えた人々に対する支援事例を活用し、ソーシャルワークの展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。本演習は「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ・Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」を修了している学生が履修しているため、学習準備性は一定程度あると考えられる。そのため実習で実践的に用いられるソーシャルワークの視点や職業倫理、援助技術を再確認しつつ、応用的な事例について課題検討できるような機会やロールプレイの機会をできるだけ設けるよう工夫した。また、ソーシャルワークの実践ではチームアプローチが基本となるため、グループワークを基本とし、学生同士の意見交換から課題解決を導けるような演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は、80点、中央値は81.5点であり、標準的な成績であった。学生の学習到達度の自己評価は、「自分なりの目標を達成した」の平均値4.1、中央値4.0で、目標は「達成された」と判断した。各項目をみると、DP2の「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値4.5、4.3、中央値5.0、4.5、DP3の「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が平均値4.5、中央値5.0、DP4の「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が平均値4.5、中央値5.0、DP5の「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値4.3、4.5、中央値4.5、5.0であったため、目標は「達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本演習は「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4. に記したように、内容的妥当性には問題がなかったと考えられる。

②DP、行動目標からみでの内容的妥当性
上記同様、内容的に妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の授業の質評価の各項目は、平均値4.5-4.8、中央値4.5-5.0であり、「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかったため、授業の質は問題なかったと判断した。

学習量の評価について、自発的学習に「取り組んだ」学生は40%であった。自由記述で「取り組んだ」内容についてみると、「復習」であった。したがって演習内容からさらに発展的に学ぶ事項等を提示することにより、自発的学習を促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は「ソーシャルワーク実習」と連動して行われるソーシャルワークの知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価により、概ね授業の目標は達成されたと考える。次年度以降、講義を通してさらに自発的な学習が促進されるような発展的な内容を提示していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	3	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、講義系の科目を通して学んだことを踏まえて、①いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、②課題を抱えた人々(当事者)の状況、③ソーシャルワーカーによる具体的な支援内容、④ソーシャルワーカーに求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めることを本授業の目的としている。方法は、演習事例を用いたロールプレイやグループワーク・グループ討議に取り組んでいる。また調べ物学習を行い、発表を交えて、体験的な学びが得られるよう指導を心がけた。本科目を通して、①近年、メディアでも取り上げられる社会的問題とされる家族(当事者含む)が抱える課題(児童虐待,高齢者虐待,DV,不登校,ひきこもり,介護等)について理解し、説明できること、②いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景について理解し、説明できること、③ソーシャルワーカーによる具体的な支援内容について理解し、説明できること、④ソーシャルワーカーに求められる社会的役割について理解し、説明できること、⑤基本的なコミュニケーション技術について理解し、活用できることを、到達目標として掲げた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、(8)「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が4.9と最も高かった。次に、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」を含め、(4)-(7)の平均値が4.7であった。また、3「授業の質評価」によると、4.3-5.0であった。</p> <p>相談援助に携わる上で、①いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、②課題を抱えた人々(当事者)の状況、③ソーシャルワーカーによる具体的な支援内容、④ソーシャルワーカーに求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めた。今後も現代の社会福祉問題に関連させ、ソーシャルワーカーの社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤に基本的なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、社会福祉の専門的な知識や技術を学ぶ科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、ソーシャルワーカーがどのような倫理と価値をもち、実践するのか等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、本年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。職業選択に関する達成度が比較的低かった。しかし、3年生の段階では自分自身の将来の選択肢について、その専門性を高め、自己内省を深め自己決定をしていくものであるため、本科目を学んでの今後の学生の成長を注察したい。今後の講義内容にて、学生間に演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、(3)「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」は全体の全体数値よりも低かった。本年度は、地域社会における福祉的問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもち、グループディスカッションに取り組むことができた。科目の性質上、社会福祉における知識・技術、価値、専門性をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面においてソーシャルワーカーが社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。学生の意見として、授業での学びを深めるために、課題を提示し、その学びを整理するとともに、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉実践の展開を学ぶ位置づけであることから、相談援助における基礎的知識の形成と事例を通してみた福祉専門職としての実践の在り方については概ね達成できたが、地域や多様な生活場面に応じた実践をする上での相談援助技術の面で課題を残した。この点は、次のソーシャルワーク演習(専門)IVにおいてソーシャルワーカーが対応する実践事例の検討や演習活動を取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出ししていきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示することを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	中川 美幸

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	3	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>事例を用いながら個人ワークとグループワークを取り入れた。個人ワークでまず、自分で考え、グループワークでは、自分の考えを発現する力、他人の意見を聞く力、グループ内で様々な意見が出たときに、多数決でなく、話し合いでまとめる力がつくことを意識し、授業を進めた。さらに、ロールプレイも取り入れ、クライアント体験を行うことで、クライアントの気持ちを理解する機会も設けた。さらに、ワークを通して、価値や倫理、人の尊厳などにも触れる説明を行った。また、質問については、授業中や、ワークシートの感想を提出してもらったときに記入してもらおうよう伝え、質問があった場合には、翌週に全員で共有できるよう配慮した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」4.3～4.8。内容を見ても「知意識の修得」4.6、「コミュニケーション能力を高める」4.5、「職業倫理について学ぶことができた」4.8となっているため。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の「受講動機」は必修科目であることと、資格に必要であるという回答が多いが「到達度の自己評価」などからみて、内容的には妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の質評価」4.1～4.9であり、概ね現在のままで良いと考える。ただし、演習では、レポートやテストなどはないため評価基準をより丁寧に伝える必要があると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

基本は現状のままであるが、評価基準などをさらに明確に伝えることを意識する。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神障害リハビリテーション論	3	前期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機をみると、最も高い数値を示したのが「資格取得に必要である」の94%であり、受講生の多くが資格取得を目的とした履修であることがうかがえる。本科目が精神保健福祉士国家試験受験資格に関する科目であることから、授業では、国家試験の出題傾向を踏まえつつ、できるだけ養成テキストに沿った内容で進めた。また、必要に応じて実践事例を紹介することで、授業内容の実践的理解が深まるよう努めた。また、適宜リアクションペーパーを用いて学生の授業理解度を把握するよう努め、質問については、次回の授業時に解説したり、補足資料を配布したりするなどしてフィードバックを行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、定期試験、レポート、授業への参加度を踏まえて総合的にを行った。その結果、全体の成績は平均82.5点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値3.9点（かなりそうだと思う27.8%、わりにそうだと思う33.3%、まあまあそうだと思う38.9%）であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「(2) 知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.2点、「(3) 事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.2点であり、目標は達成されたといえる。「思考判断」は、「(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.2点、「(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値が4.1点であることから、目標は達成できたと考える。また、「意欲関心」についても、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.2点であるため、目標は達成できたと考えよう。「態度」については、「(9) 職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値が3.9点であるため、目標は達成されたと考える。なお、いずれの項目についても否定的評価はなかった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「精神保健福祉関係科目」において精神保健福祉実践の展開を学ぶ位置付けである。授業準備の欄にも示した通り、学生の受講動機は約63.6%の学生が資格取得を目的としたものであったが、受講態度や課題等への取り組み状況から、メンタルヘルス領域への高い興味や関心が感じられた。また、学生の自己評価や成績評価から一定程度の成果が得られたことから、内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、「(3)説明は理解しやすいものであった」の平均値が4.2点(かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う50.0%、まあまあそうだと思う16.7%)であり、否定的な評価をした学生はいなかった。今年度は、学習準備性を高めることを目的に、配布資料の見直しを行った。学生の自由記述では、「授業の課題で十分に復習で来たから」「授業内で理解できたらから」等の意見があり、配布資料の見直しには一定の成果があったようであるが、学習量評価をみると継続的に予復習に取り組んだ学生は昨年同様全体の1割にも満たなかった。学生の学習に対する主体的、能動的に取り組む姿勢を涵養するため、予復習の課題の明確化、丁寧な説明等を行っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「精神保健福祉関係科目」において精神保健福祉実践の展開を学ぶ位置づけから、教育目標の知識理解、思考判断、意欲関心、態度については達成できたと考える。他方、学生の学修準備性を高めるための仕組みをあらためて見直す必要があることが明らかになったことから、今後に向けた課題として改善に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉の原理Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、精神保健福祉士が国家資格化される以前からの精神医学ソーシャルワークの発展と継承を踏まえた、精神保健福祉士の専門性を確立するための基盤科目となる。精神保健医療福祉に関する法律や制度の歴史の変遷を学び、精神保健福祉領域におけるソーシャルワーク専門職としての精神保健福祉士の存在意義について理解を深める。精神保健福祉士の視点や考え方、行動について学び、誰しものが心の健康(メンタルヘルス)を保ち、また不調を改善して自分の意思に基づく主体的な生活を送ることを支えるソーシャルワーク実践について考察する。具体的には、講義による学び、映像視聴、学びを踏まえた意見交換やグループディスカッション等の方法を用いる。本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。本講義の特性上、精神保健福祉に係る知識の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度は、全員が標準的レベル及び理想的レベルに概ね達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が平均値4.8と最も高かった。次に(6)「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」、(7)「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」、(9)「職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた」が平均値4.6であった。3「授業の質評価」は平均値4.2-4.7の水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、精神保健福祉についての基本的な知識を、学ぶ内容である。精神保健医療福祉に関する法律や制度の歴史の変遷を学び、精神保健福祉領域におけるソーシャルワーク専門職としての精神保健福祉士の存在意義などについては、広範な情報量となるため、これまでの歴史的な背景をはじめとして、現代の社会問題に関連させ、精神保健福祉士の社会的な役割について示すことで、今後も学生の学びを促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、精神保健福祉に関する基本的な知識を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「精神保健福祉専門科目」では、精神保健福祉の基礎を学ぶ位置づけであり、選択科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は精神保健福祉についての基本的な知識を、学ぶ内容である。精神保健医療福祉に関する法律や制度の歴史の変遷を学び、精神保健福祉領域におけるソーシャルワーク専門職としての精神保健福祉士の存在意義などの理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の実習に向けての横断的な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による精神保健の実情(福祉的課題、動向等)、福祉法制度・サービスの動向を注察する必要があるが、本年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から表現技能に関する達成度が比較的低かったが、今後の社会状況の変化による地域の実情(福祉的課題、動向等)、福祉法制度・サービスの動向等についての表現の機会が少なかった点では方法的妥当性の問題である。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題(具体的な事例)を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値4.2と全体数値よりも低かった。本科目は精神保健福祉に関する基本的な知識を踏まえて、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の精神保健福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。そのため、考え、話し合い、発表する機会が少なかった。次年度に向けて関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値4.2と全体数値よりも低かった。しかしながら、本科目は講義科目である性質を踏まえ、精神保健福祉に関する基本的な知識について教授した。レジュメ資料・映像資料等を通して伝えることができたと考えます。より学生の学びの理解を深めるためには、前記のように学生の考え、話し合い、発表する機会を設けるための工夫を今後も行っていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ソーシャルワークの理論と方法（専門）A	3	前期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であることから、他の社会福祉士や精神保健福祉士の受験資格科目との関連性を考慮して講義を行った。</p> <p>具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、1、2年次での開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、定期試験の件、社会福祉士の実習に伴う補講の件、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、関連キーワードの確認テストを実施したり、学修状況確認のために、8回目あたりに講義中に中間的な小テストを行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにパワーポイントを使用し、レジュメを作成して配布し、理解度を高めた。リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達していた。従って、標準的レベルには達成できているものと思われる。また、定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に成績評価を行った。</p> <p>また、80点以上が半数を占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけでなく、幅広く、司法や障害福祉、精神保健福祉（メンタルヘルス）、貧困等々の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、精神保健福祉士の国家資格を取得するための専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。

また、精神保健福祉士の国家試験の受験資格を取得しない学生の受講もあったが、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域に興味があるということで、意欲を感じられた。

学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。

以上のようなことから、問題が無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができる」の平均点が低かった。座学中心であり、可能な限り事例等の導入をして、かつ視聴覚的なDVDも含めたアクティブな活動を入れ込む努力を行ったが、次年度からはより工夫をしていきたい。

次年度に向けて更なる工夫をすることを課題としたい。

学術データベースの利用に関しても、利用の仕方からのインフォメーションを行ったにもかかわらず、殆どなされてない状況であるので、引き続き具体的に示していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するための必須科目であり、精神保健福祉士養成レーンの学生の受講が多かった。2年次での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて講義を行ったが、2年次に精神保健福祉に関する他の講義等を受講していない学生（進路変更者等や、メンタルヘルスや障害福祉領域、医療福祉領域に関心を持つ者）も受講していることから、前半部分は2年次の復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、後期にこの講義のBが設定されているので、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行った。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供したりDVDの視聴をして検討を行ったが、さらなる方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布し、その説明を行い、理解を深めたものと感じられる。次年度も引き続き、予習復習に関して具体的な指示を出すようにし、理解を深めていく。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
心理学と心理的支援Ⅰ	1	前期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今回の授業評価アンケートの回答率は68%であった。</p> <p>受講動機は「必修科目である」66%、「資格取得に必要である」48%、「関心のある内容である」18%、「単位数を確保する」8%、「友人が履修している」2%であった。本科目は、社会福祉士国家試験受験資格に必修の科目であるため、「必修科目」「資格に必要」と答えた学生の比率が高い。</p> <p>1年次科目であるため、まずは資格取得科目として受講してみようかという学生が中心である。また、本科目は学生が初めて心理学の基礎的理論や研究に触れる科目であることから、できるだけ具体的な例を挙げて、専門性のある概念や言葉に親しみ、関心を深めるようにしている。</p> <p>毎回、授業前に前回の復習として、授業の流れを振り返り、繰り返し説明することで、知識の定着を図った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は76.9点であった。80点以上の理想的レベルの者の割合は53%、60点～79点の標準レベルの者の割合は31%であった。再試験で合格した者を含めると、採点対象者のうち93%の者は標準～理想的レベルの目標達成ができた。</p> <p>学生の自己評価においては「自分なりの目標を達成した」の平均値は4.1であり、すべての学生が「そうだと思う」と回答していた。「コミュニケーション能力や表現力を高めることができた」以外は4.2点以上であった。</p> <p>「さまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値は4.5、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.4であり、学生は十分な学習成果を実感することができているようである。</p> <p>また、「学びを深めたいと意欲をもつことができた」の項目も平均点は4.2であり、自由記述にも「とてもためになる授業でした」「テストに向けての勉強ではなく、将来のために勉強していきます」との感想が述べられており、授業を通して学ぶ意欲を引き出すことができたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、卒業必修ではないが、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験必修科目である。また、それらの資格に加え、養護教諭、保育士など対人援助職としての専門性を養うには、人のこころの理解は基礎である。したがって、1年次の心理学と心理的支援の学習は重要でかつ妥当であると考えている。学生の自由記述にも「心理学は養護教諭になる上でとても重要な学問であると感じました」という意見が得られた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価において「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.2であり、教授内容を質、量ともに概ね適切に伝達することができた。「授業の課題以外に学習に取り組んだ」学生は、34%であった。取り組んだ学生は、「復習」「重要なところをまとめて覚えられるようにした」「スライドの見直し」「今までに習ったところの教科書を見て復習した」など、日々の学習を大切にしたり、「心理学雑誌を読んだり、ネットで心理学について調べるなどして学びを深めた」「心理療法などをニュースで見たり詳しく調べるなどした」「講義内で気になったことについて掘り下げたりした」など、授業で接した知識をさらに広く深く自ら学ぶ者がみられた。一度も予習に取り組んでいない学生は38%、一度も復習に取り組んでいない学生は30%であった。課題以外に学習に取り組んでいない理由に「予習復習を徹底した」「授業内で十分に理解することができた」という意見があった。課題以外に取り組んでいない理由に「何に取り組めばよいかわからなかった」という自由記述がみられたことは残念である。「授業の課題があったから」「課題レポートに集中して取り組んだ」という意見もみられた。昨年度より改訂し、小レポートの課題の在り方を工夫したことにより、60～70%の学生が予習復習を意識し、30%の学生が授業の課題以外にも取り組みを見せたことは、望ましい結果であると考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の目的とする基礎的知識の形成について、達成できた。学生の目標達成の実感も高かった。学生の日々の学修のあり方を考える機会となるような課題の出し方を検討した結果、予習復習や自主学修に取り組む学生が増加した。この取り組みを継続していきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	石川 崇彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
医学概論	2	前期	必修	いいえ	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>医学概論は内科学を中心に整形外科、産科・婦人科、小児科、精神科、健康、疫学の分野にわたり解剖、生理、主要な疾病についての概念、症状、検査、治療などを解説する系統講義です。疾病の知識は、将来に社会福祉士として医療や福祉分野で他職種のスタッフや、クライアントとその家族らと円滑にコミュニケーションをする上で必要です。社会福祉士の国家試験にはこの領域からも例年出題されます。</p> <p>講義で扱う領域が広範でしたので、昨年に引き続き重要な疾患や、過去に国家試験で出題されたことを重点的に、臨床現場での体験をできるだけ織り交ぜながら解説するように心がけました。また重要なポイントとなることは、初出の時だけでなく、後日の講義で関連する事柄を話す時などに、織り交ぜながら繰り返し話しをするようにしました。限られた時間の中で知識の説明に追われるところはありませんでしたが、受講する学生さん達にいろいろと考えてもらう機会になってくれればと思います、医療現場での様々な問題点などについても出来るだけの話をするようにしました。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>期末試験と授業貢献度の総合判定で、平均値は92点(最高100点・最低70点)でした。秀：52名、優：13名であり、多くの学生さんが高得点という結果でした。また到達度自己評価でも「コミュニケーション力や表現量を高める（平均値3.5、中央値3.0）」以外の項目で「まあまあそうだと思う」以上の評価をした学生さんが大多数でした（平均値4.0-4.6、中央値4.0-5.0）。意欲感心については受講動機では「関心のある内容だから」が9.5%（4/42）あり、「授業の課題以外に学習に取り組んだ」割合が33%（14/42）程度ありました。意欲関心についてはやや達成されたと考えています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門教育科目」の「保健・医療関係科目」です。本科目は必須科目であり、取り扱う基礎的な医学、医療の知識は、保健、福祉、保育といった福祉学科の扱う様々な専門科目の内容と密接に関連しており、学生さんがこれから先の教育過程を学ぶ上で必要な素養であるといえます。国家試験にも出題されますので、早くからの学習は効果的と考えます。学生さんの受講態度、試験の結果、到達度自己評価等からみて、カリキュラムマップ、CP、DPにおける位置づけとして内容的妥当性に問題はないと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートの「授業の質」の評価からは、多くの項目で「まあまあそうだと思う」以上の評価がありました。一方で「学生参加の機会」の評価が低かったのは、知識を伝える系統講義であったからと考えています。講義の際に質問の受け付けを呼びかけましたが、講義中に直接質問することは難しかったかもしれません。昨年に引き続きclassroomを通じての質問もお受けすることになりましたが、実際に使われることはありませんでした。講義終了後に個別の形で質問をしてくれる学生さんも時折いましたので、次の講義の際に補足で話することも出来ました。学習量については、あまり予復習に時間を充てなかったと回答した学生さんが半数程度という結果でしたが、個別の回答では講義内で理解できたとする意見や復習用の問題プリントを解くことで十分だったとの意見が複数寄せられました。他の教科の学習にも時間が必要ですので、知識がある程度講義中に消化され、特に学習時間の必要がなかったのであれば十分だったと考えています。その上で更に意欲的に学習時間をもってくれた学生さんもいたことは嬉しいことでした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

国家試験に合格するためには過去問の理解が不可欠ですので、昨年に引き続き過去問を中心とした試験としました。試験については昨年同様に一部の問題で選択肢や設問内容を変更して出題しましたが、多くの学生さんが高得点を取っていました。試験を受けたすべての学生さんが初回試験で合格点に到達しており、学習にしっかり取り組んだ成果と思いますが、やや難易度の設定にも問題があったのかもしれません。本科目は、医療、福祉分野で扱う様々な疾患を理解するうえで基礎となるものです。この講義が皆さんのこれからの学びのきっかけになってくれたら嬉しく思います。また講義内容に対する質問のことで既述しましたが、学生さんにとっては質問をすることで講義内容のより正確で深い理解につながりますし、質問を受ける側にしても新たな気づきや講義内容への大切なフィードバックになります。授業アンケートの個別の意見でも、多くはありませんでしたが昨年同様「講義内容が難しく理解が十分でなかった。」との意見もありました。できるだけ丁寧に説明と心掛けたつもりなのですが、まだまだ不十分なところがあったと反省しています。是非積極的に質問をする姿勢をもってもらえればと思っています。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	3	前期	選択	いいえ	70

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、メンタルヘルス(精神保健)に関する現象・問題等を体系的に捉え、対応策や予防策を見出ししていくための学問となる。地域生活を営む上で、メンタルヘルス(精神保健)の課題がどのようなもの存在し、どのような支援が現代社会において求められているのかについて、福祉専門職の立場から講義を展開する。具体的には、講義による学び、映像視聴、学びを踏まえた意見交換やグループディスカッション等の方法を用いる。講話法を中心とした講義の展開が主であった。現代の精神保健の課題は、福祉専門職のみならず、教職・保育等においても横断的な理解が求められる。そのため3年次以降の本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。本講義の特性上、地域福祉に係る知識の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度は、全員が標準的レベル及び理想的レベルに概ね達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、(3)「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」、(6)「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が平均値4.3と最も高かった。次に(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、(4)「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、(5)「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」が平均値4.2であった。3「授業の質評価」は平均値4.2-4.5の水準であった。</p> <p>知識理解に関しては、現代における精神保健の課題と支援についての知識を学ぶ内容である。精神保健の課題と支援、法制度、近年の取り組みなどについては、広範な情報量となるため、現代の社会福祉問題に関連させ、精神保健福祉士の社会的な役割をはじめとして社会福祉士、養護教諭、保育士の役割も併せて示すことで、今後も学生の学びを促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、精神保健の課題と支援、法律・制度、サービスを理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「精神保健福祉専門科目」では、精神保健福祉の実践の展開を学ぶ位置づけであり、選択科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は地域における精神保健の課題と支援の現状を踏まえて、精神保健福祉士をはじめとして、養護教諭、保育士等の役割、支援機関・施設、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。3年次後期の「現代の精神保健の課題と支援Ⅱ」に向けての横断的な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による精神保健の実情(福祉的課題、動向等)、福祉法制度・サービスの動向を注察する必要があるが本年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から表現技能に関する達成度が比較的低かったが、今後の社会状況の変化による地域の実情(福祉的課題、動向等)、福祉法制度・サービスの動向等についての表現の機会が少なかった点では方法的妥当性の問題である。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題(具体的な事例)を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値3.7と全体数値よりも低かった。本科目は現代社会における精神保健の課題と支援に関する現状を踏まえて、地域を基盤としたソーシャルワークの実践概念・方法や今後の精神保健福祉の展望等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。そのため、考え、話し合い、発表する機会が少なかった。次年度に向けて関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が平均値3.7と全体数値よりも低かった。しかしながら、本科目は講義科目である性質を踏まえ、前期において可能な限り、現代社会が抱える精神保健の課題と支援について教授するとともに、後期の「現代の精神保健の課題と支援Ⅱ」の学びへとつなげられるよう、基本的な知識等を教授した。レジュメ資料・映像資料等を通して伝えることができたと考えます。より学生の学びの理解を深めるためには、前記のように学生の考え、話し合い、発表する機会を設けるための工夫を今後も行っていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 政伸

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教職概論	2	前期	選択	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教職課程の必須科目として位置づけられており、また「教職コアカリキュラム」によって取り扱うべき内容が決められていることから、授業内容の精査は常に行ってきた。</p> <p>②全体を、教職の歴史の変遷、法制度などの基礎的知識理解を深める部分と、教職をめぐるさまざまな具体的事例の考察の大きく二つに分けて、授業を組み立てた。</p> <p>③後半の教職をめぐるさまざまな事例の考察は、昨今強調されている「チーム学校」という考え方を受けて、学校教育を支える多様な機能に焦点をあてて構成した。スクールソーシャルワーカー、不登校対応専任教員、夜間中学教員、院内学級担任、部活指導員などの実践例を映像を通して、教職の幅の広さ、奥の深さの認識を深めた。</p> <p>④学生同士の意見交換を大事にしたいとグループワークを積極的に取り入れた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①評価は、2度の小テスト、長短の数度のレポート提出の合計点で行った。前半の教師の服務についての理解は、筆記試験で確認する必要があり、今年度より小テストを実施し、理解の定着を図った。</p> <p>②90点以上6名、80点以上90点未満9名、70点以上80点未満8名、60点以上70点未満32名、60点未満2名であった。頑張っている学生とそうでない学生が混在している。</p> <p>③「知識理解」については、授業及びレポートで当該課題についての調べ学習をまず行わせたが、これについては比較的よくできていたと評価できる。しかし、調べ学習をもとに自らの課題としての認識を深めるまでにはまだ十分ではない。2年生ということもあり、まだまだ進路についての自覚や目的意識が明確になっていないからと考えられる。</p> <p>④グループワークを積極的に取り入れたことで成果もあったが、人数が多いこと、学生が慣れていないこともあって活動しているだけというグループがあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性

本科目は、教職課程の科目であり、ほとどの大学でも共通するカリキュラムマップにそっており、内容的妥当性については問題ないとする。

②DPについて

教職課程独自のDPでないために、評価項目が授業のねらいと必ずしも整合的でない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①毎回のことながら、授業中に行った発言に対して批判的な意見があり、それについては真摯に受け止めたいと思う。しかしながら、明らかな誤解、憶測、思い込みによる批判については、納得はしていない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

①1年後期に開講される「教育原理」が教育学への入門的科目であるので、本科目が職業としての教職に関する専門科目としては最初のものである。ガイダンス的な科目として、幅広く学校教師の仕事についての理解を深めようと考えたが、次年度からは、自らの課題と感ずることが出来るようにグループワークを取り入れるなど授業構成と方法を改善したい。

②学生の関心が高いスクールソーシャルワーカーを外部講師として招きたいと考えていたが、実現できなかった。再度検討してみたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育心理学	2	前期	選択	はい	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>多様性と人権文化の花咲く、より良い社会の建設は教育の成否にかかっている。教職を目指す学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出来るだけ厳選して授業に臨んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点に従って書かれている学生が多く、授業者の意図をよく汲んで内容を理解していることがわかる。（客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる）授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

情報の洪水のような現代、そしてスマホ時代の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみると、これは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生が達成すべき目標を4点シラバスに記載しているが、授業のはじめに説明し、自覚を促したこともあり、学生の自己評価および授業者の目から見ても満足のいくものであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	大庭 正美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3	前期	選択	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習指導要領における特別活動及び総合的な学習の時間の位置づけや特質、内容などについて基本的な知識理解を中心としながら、小中学校での指導の実際についても取り扱い、実践的な態度の育成に資する授業に努めた。そのため、できるだけ実践事例の映像資料を活用していった。</p> <p>②授業の終末には授業内容を振り返り、シートに記入させるようにした。そこで出された気づきや疑問などを次の授業の導入で取り扱い、再確認できるようにするとともに、深い学びにつながるように努めた。</p> <p>③授業の内容に応じて、学生自身の学校での経験を想起させ、重ねて考えることができるように促した。そうすることで、理論と実践がつながりやすいようにし、就職後のイメージをもちながら学修できるよう配慮した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業後の振り返りシートの内容の結果をもとに判定したトータルの成績において、70点以上を獲得した学生が35名中20名であり、そのうち80点台が4名、90点以上が6名だった。また、到達度自己評価においては、ほとんどの項目で平均値が4以上であったことなどから、上記観点のうちDP1、DP2、DP5共に「達成」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

卒業後、学校や家庭・地域の実態や児童生徒の傾向性を考慮して指導に当たる養護教諭をめざす学生にとって、学校経営や教科横断的な健康教育と密接につながっている特別活動及び総合的な学習の時間の指導内容は非常に重要である。したがって、学生には専門分野に限らず学校全体や教職全般への関心を持ち続けることが求められる。そのような意味から、学生の自己評価での項目の中で、(6)「関心・意欲」や(10)「職業選択の参考」が高い評価だったことは教職課程における内容としての妥当性は高いと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の質評価」においては、特に項目の(3)の評価が4.9と非常に高かった。その要因としては、①毎回の授業の振り返りを着眼点ごとに分類整理し、それにコメントを加えて次の授業の冒頭で共有する時間を設定していたこと。②学校現場の実際場面がイメージしやすくなる映像資料を活用しながら授業を進めたことなどが考えられる。自由記述欄においても「学校現場のことがよく想像でき、とても授業が分かりやすかった。」「映像によって学校現場の様子がわかり、先生になりたいという思いが強くなった。」「特別活動だけでなく、『教師』についても考えることができた。」といった感想もあることから、今後もその点を重視し、授業の中で体験談や学校現場の実際について効果的に取り上げられるように工夫し、教職への志望意欲をより一層高められるように努めていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

将来、養護教諭をめざす学生であるため、特別活動においては健康教育との関連や保健指導との関連などを想定しながら授業を進めていった。特に、教育課程における特別活動の位置づけや役割など、特別活動の教育的な意義については繰り返し指導するように努めた。その結果、毎回の授業後の振り返りシートの記述などから、教職に対する意欲が向上していったことが読み取れた。
次年度も、特別活動及び総合的な学習の時間の本質を的確に理解できるようにするとともに、教職課程の授業として、教職への意欲を喚起し、より実践的な資質能力態度が向上するように、一単位時間の授業展開に関してもさらなる工夫改善に努めていきたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別支援教育論	3	前期	選択	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>4学科合同の授業であるが、本学科の学生の場合、障害についても他の授業で耳にしたことがあることは授業中に確認できたこともあり、大方の学生は一定程度学習・理解が達成できたと考えられる。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業中の応答、定期試験の結果から大方の学生は達成できたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容は妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

一部の学生からではあるが、自己学習や復習に取り組んだというコメントがあり、積極的に受講していた姿がうかがえた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

大方の学生は基本的な部分は学習が進んだと考えられる。教育の実践現場に出た時に授業内容を振り返り、積極的に不足分を補うことができるようになってもらえたらと思う。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 政伸

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育方法論	3	前期	選択	はい	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教職課程の必須科目として位置づけられており、また「教職コアカリキュラム」によって取り扱うべき内容が決められていることから、授業内容の精査は常に行ってきた。</p> <p>②全体を、教育方法の歴史の変遷、学習指導要領の変遷などの基礎的知識理解を深める部分と、教育方法の理論にしたがったさまざまな具体的事例の考察の大きく二つに分けて、授業を組み立てた。</p> <p>③具体的な実践について、学生同士の意見交換を大事にしたいとグループワークを積極的に取り入れた。</p> <p>④グループワークの実践的力量をつけるために、主にKJ法を用いた演習を実施した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①評価は、数度のレポート提出と3度の小テストの合計点で行った。</p> <p>②90点以上2名、80点以上90点未満17名、70点以上80点未満9名、60点以上70点未満3名、60点未満1名であった。優秀な学生もいるが、全体的にはやや低調気味である。</p> <p>③基本的に「知識理解」のみの評価基準であり、多人数かつ複数学科の学生により構成されているので「態度」を判定することは困難である。</p> <p>④「知識理解」については、授業及びレポートで当該課題についての調べ学習をまず行わせたが、これについては比較的よくできていたと評価できる。しかし、調べ学習をもとに自らの課題としての認識を深めるまでにはまだ十分ではない。</p> <p>⑤グループワークを積極的に取り入れたことで成果もあったが、3年生の場合これまでの高校から大学入学までオンライン授業中心であったことから対面での授業を嬉々として楽しんでいる雰囲気があった。しかし一部には、人数が多いこと、学生が慣れていないこともあって活動しているだけというグループがあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性

本科目は、教職課程の科目であり、ほとどの大学でも共通するカリキュラムマップにそっており、内容的妥当性については問題ないとする。

②DPについて

教職課程独自のDPがないために、評価項目が授業のねらいと必ずしも整合的でない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①毎回のことながら、授業中に行った発言に対して批判的な意見があり、それについては真摯に受け止めたいと思う。しかしながら、明らかな誤解、憶測、思い込みによる批判については、納得はしていない。

②本時だけに限らないが、受講者が一桁しかない授業評価において、アンケートに示される評価の数字にどれだけ意味があるのか疑問である。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお願いします。

①2年時に履修した科目に引き続き、教職に関する専門科目としてはかなり専門的内容を含んだものである。これまでの学生自身の教育・学習体験を相対化、理論化できるようにとのねらいから取り組んだグループワークによる具体例の検証は、学生の反応がよかった。やはり「教育方法」という科目は、それ自身が教育実践として学生に提示されてしかるべきものであると改めて認識した。

②次年度からは、授業内容をさらにバージョンアップして、授業を通して学生自らの課題と向き合うことが出来るような授業構成と方法を改善したい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
道德教育の理論と実践	2	前期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目であるため、学生の意識の上では準備がある程度なされていると考える。ただし、小中時代の道德教育の実施状況から考えて、非常に意識しにくい科目であると予想される。そのため本授業では授業実践としての道德教育を具体的な形で意識できることをひとつの焦点とした。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>○2023年度 全体平均81.5、福祉学科平均83.2、秀50.0%、優25.0%、良16.7%、良5.6%、可0.0%、不可2.8% 標準偏差13.08</p> <p>○2024年度 全体平均78.2、福祉学科平均77.1、秀26.3%、優31.6%、良10.5%、可26.5%、不可5.3%、標準偏差14.1.</p> <p>○昨年度と比べると、秀が半減し、可が全体の4分の1を占めるなど、全体的に低下している。標準偏差が大きいのも福祉学科の特徴で、上位層の下位層で二極化している。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

教職課程の必修科目ということ、また従来型の理論偏重の道德教育ではない実践的アプローチを採用していることを鑑み、内容的な妥当性はありと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

○授業の進め方としては(1)道德とは何かという理論編(2)日本の学校教育における道德教育の位置づけ(3)学習指導案の構造と授業の実際(4)自分で道德の授業を組み立てる、というものであった。
(3)と(4)に関しては同時並行という形になり、常に自分ならどのような授業にしたいかを考えて授業に参加することを求めた。
○本年度は実際の学校現場で用いられている各種資料の参照、理解度を深めるための課題等について多様な形式を工夫した。
○指導案作りに関しては、いくつかの段階を踏んで作成できるよう課題作成・提出を組み合わせた。
○今年度は道德教育の評価に関する学習を強化した。
○実際の授業記録動画の視聴を課題とし、その上で授業中に動画を再生・解説するなど、実際の授業の雰囲気や教師の具体的指導方法の習得に務めた。
○福祉学科は授業実践記録の具体的教材研究を自分の指導案作りに反映する部分で、上位層と下位層の差が大きい。このパートの授業参加度が低いことや、そもそも独自性や工夫を凝らすことへのモチベーションが低いことなどが考えられる。よりわかりやすい工夫や、それを反映させた小さな課題指導などを工夫したい。
○児童生徒を意識した授業づくりの楽しさを一層感じることができる授業としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

○達成状況は福祉学科全体としてはある程度満足できるレベルにある。特に上位層は課題への取り組みとその成果も高いレベルにある。
○次年度も今年度同様の達成度を実現したい。また、未提出者が出ないよう段階的な学習指導案づくりの指導を続けたい。
○授業実践動画の視聴と検討に時間をかけたが、これは比較的理解を深めるきっかけとなったと思う。次年度も同様の試みを継続する予定である。
○授業時間中に行った指導案作成の演習形式の授業において熱心な取り組みが見られたので、このような形式をさらに取り入れたい。

リフレクションカード 2024年度前期

学科	福祉学科
氏名	秋山 俊史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生徒指導論	3	前期	選択	はい	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①前年度同様、全国的に教員希望者が減少している中、93%の学生が「資格取得に必要である」と考えており、教職（養護教諭）を目指すために受講していることが伺える。しかしながら、「関心のある内容である」と回答した学生はわずか14%にとどまっていることは、生徒指導が「厳しく指導すること」という重たいイメージを持って臨んだことがわかる。そのため、学校における生徒指導の実情とその対応について、事例などを織り交ぜながら実践的に学べるようにし、児童生徒理解と生徒指導の関係性について考えさせた。</p> <p>②基本的な教育法規や教科書、資料に示される内容の解説はもちろんのこと、自身の教員や指導主事としての経験から得たより実践的な対応を示しながら、生徒指導は決して厳しく指導するばかりでなく、子どもの心に寄り添うことが必要であることを主に授業を展開した。</p> <p>③教師は、生徒や保護者、地域との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力が求められるため、授業では学生自身が気づいたこと、感じたことなどを振り返るための「授業のまとめ」を毎時間提出させた。さらには問われていることの意味を理解する力や、自分の考えをまとめ伝えることのできる力を身に付けるため、採用試験における小論文や面接対策のための指導と併せて、定期試験を含む3回の小論文実践を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は76.5点であり、再試験者は0名であった。理想的レベル（概ね75点以上）を上回る結果であった。</p> <p>本科目の試験は小論文であるため、与えられたテーマや課題に対しての知識や理解度とともに、自分の思いや考えをわかりやすく表現する文章表現力や説得力を評価するものである。講義の中で小論文の書き方指導を経て2回の小テストを実施した。その結果回を重ねるごとに学生の論作技能向上が見られるようになった。学習量の評価においても授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として、「小論文対策」と記述した学生が多かったことから向上のために取り組んだことが伺える。</p> <p>授業形態については、昨年同様事例研究の際のグループディスカッションを取り入れ、学生自身の考えを積極的に発言し、グループとしての意見をまとめ、発表するという活動を実施した。司会、記録、発表者など役割分担して討議を進め、活発な意見交換が行われた。到達度自己評価では、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」では99%の学生が「そう思う」と回答していることから、効果は十分にあったと思われる。</p> <p>3. 授業準備でも述べたが、関心がない状態での受講であったものが、到達度自己評価「職業選択の参考になった」の平均値が4.4点で比較的高く、学生が教職を目指すにあたって、教育活動全体を通して行われる生徒指導の必要性が理解できたのではないかと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①本科目は、教員免許の取得に向けた内容であり、教職課程では必須である。受講する全ての学生が教職の道に進むとは限らないが、ほとんどの学生が「資格取得に必要である」と考え、自らの意思で受講している。その目標に応えるために、学校現場の実態に触れ、対応や指導方法を学ぶことができる授業であることから妥当性があるものと思われる。

②DPから見た内容の妥当性
先述したように、成績評価は論文や毎時間の振り返りレポートの記述を通して、養護教諭として必要な判断力、表現力、説得力などの向上度合を示すものであり、養護教諭としての専門性を生かすための知識を表現する必要がある、ほとんどの学生の評価は確実に上がったことから内容的に妥当であったと言える。

以上のようなことから、内容的妥当性には問題ないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、全ての項目で平均が4.4～4.6と比較的高かった。自由記述にも「生徒指導の重要性を理解し、課題に対して養護教諭の立場での行動を検討する力が身についた」「今後も新聞記事やニュースで見える学校現場の課題に対して、自分だったらどうするかを考えていきたい」という前向きな感想があり、養護教諭を目指して努力する学生への一助となったのではないかと思う。

また、事例研究として「グループディスカッション」を継続し、自分の考えをはっきり伝えること、他人の意見を聞いて新たな発見をし視野を広めることなどを学ばせたことは大変効果的であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

未だ教職希望者が少ない状況で、採用倍率が低くなるのが懸念されている。要はこれからの教師の資質が問われ、そのことが今後の教育に大きく影響することは間違いない。まず学生が本気で教職を目指し、そのために多くのことを学び努力することが必須条件であり、その土台の上に教育現場で即戦力となれるための知識と実践力を育てる担当教師の指導があるのだと思う。

時代と共に教育のあり方、考え方は日々変化している。学生に指導する教師自身も様々な変化に対応できるよう情報収集に努めなければならないと感じている。これまでの授業でも、教師は子どもたちが日々成長する姿に感動し、その瞬間に関われるというやりがいのある職業であることを伝えてきた。今後学生が「何となく」ではなく、「是非」教師になりたいと思えるような授業を展開してまいりたい。